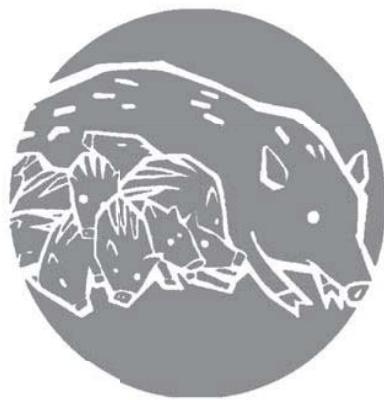


-平成19年度-

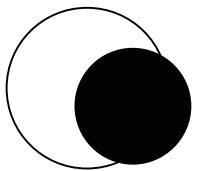
# 館報

# 2007

vol. 16







## はじめに

世間の暗さに押しつぶされることなく、ひとはくは07年もこれまで以上の活性を維持し、展開しました。

ひとはくといえば今では恐竜が合い言葉です。07年中にも、テレビや新聞に取り上げられる機会がいっそう増え、ひとはくの知名度を上げるのに貢献しました。07年度中にも、恐竜化石の発掘、クリーニングなどの事業、資料に基づく研究も着実に進められ、成果の見通しはますます大きく膨らんできました。

恐竜化石のようにメディアに露出する機会はありませんが、博物館の目指す一般的な活動は07年中にも着実に展開しました。生涯学習支援の輪を広げる地域研究員の育成は、3度目になった「共生のひろば」でその成果を披露しました。館員が貢献するシンクタンク機能は、県政でもさまざまなレベルで成果を上げましたし、学校教育支援、NGO・NPOとの協働でも効果を上げました。館員の総合研究では、これらの活動とどのように連動させるかを追求し、健全な博物館学の育成に取り組んでいます。博物館で学ぶ大学院生も、修士課程の2学年がそろい、これらの活動にも積極的に参画しながら、学習に成果をあげています。ひとはくの地道な活動は、すぐにメディアに理解されるようなものではありませんが、今では博物館業界の有識者や県内の優れた知識層には確実に理解と共感を得るようになっています。

新展開と平行して、今後の博物館活動のあり方を目指して来た新たな「人と自然の博物館基本構想および基本計画」は、内外の識者の応援を得て、ひとはくの独創的な展開案をまとめるに至りました。もっとも、諸般の事情で、そのままの形で実現することはすぐには望めない現状です。しかし、だからといって、ひとはくはそれでくじけるような弱みは見せません。08年度に向けて、ひとはくが描いて来た課題の実現に向けて堅実な歩みを始めます。博物館は貴重な資料と優れた人を資源に生涯学習支援を行う機関です。人とものを統合した「演示」を、施設がないままでは試行的とはいえ、具体的に展開する準備を整えて来ました。さいわい、恐竜ラボは本館そばと丹波市山南町に開設することができ、活動を開始しました。

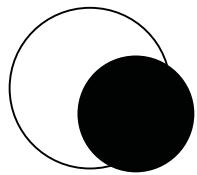
世間に暗い話が積み重ねられますと、ますます博物館における生涯学習支援の充実が望まれます。日本で、そのことに気づく人はまだ握りかもしません。知育に偏って来た日本の教育のあり方が、今ほど反省されている時はないとはほとんど的人が認めながら、実際は知育の充実ばかりを期待する論議が続いています。ひとはくが自然・環境を手がかりに、多様な人たちといっしょに考え、前向きの取り組みを展開していることを、もっと多くの人に知ってもらいたいものです。自ら考えることによってこそ、今では物質・エネルギー志向の幸福だけを無駄に追求している多くの日本人が、日本人らしいこころの充実を求める生き方を発見するはずです。

自然・環境に関わる課題は個別の事象についての知識を積み上げるだけでは当面の解決への道が見いだせるものではありません。現在解明されている知見には限りがあるとしても、それらを統合的に活用することによって、今なすべきことが見えてくるはずです。これは、すべての市民に行動が求められている課題です。ひとはくは自然・環境に関する課題について、できるだけ多くの市民と協働し、多様な対応ができるようでありたいと思っています。

私たちを取り巻く環境は、のんびりと横目で見て通れる状況にはありません。08年もまた1人でも多くの人々がこの深刻な問題に気づき、対応策を考え、よりよい明日に向けての活動に参画できるように、ひとはくはその機能を十分に発揮したいと考えております。

07年度の館報が、上に述べた抱負の基盤となるものであることを、記事や数字から読み取っていただければさいわいです。

兵庫県立人と自然の博物館  
館長 岩槻 邦男



# 目 次

## ■組織及び施設概要

・ 沿革	4
・ 機能	5
・ 平成 20 年度の事業計画	6
・ 常設展示の概要	8
・ 施設の概要	9
・ 組織と職員	12

## ■平成 19 年度事業報告

・ ひとはくトピックス	16
・ 事業報告	22

## ■資料

### ○博物館概要等に関連する資料

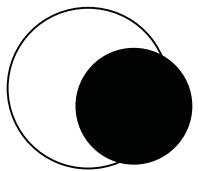
・ 主な収蔵資料	34
・ 情報システム	35
・ 条例等	37
・ 博物館協議会委員名簿	43

### ○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	44
・ 企画展等一覧	48
・ 企画展関連講座	49
・ 生徒・学生等の受け入れ状況（平成 19 年度）	50
・ 学校教育支援プログラム（平成 19 年度）	51
・ 平成 18～19 年度 2 年間学校団体連続入館状況	52
・ 来館一般団体一覧	53
・ 来館学校団体一覧	57
・ 共催および協力事業等	59
・ サイエンスショー2007 出展者一覧	67
・ ひとはくフェスティバル'07 参加団体リスト	68
・ フロアサービス実績一覧	69
・ 外部資金導入状況	70

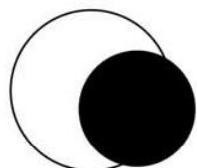
利用案内	72
------	----

# 組織及び施設概要



## 沿革

昭和 44 年 2 月 26 日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和 44 年 6 月 5 日	県議会において請願が採択された。
昭和 48 年 6 月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保护活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和 51 年 5 月	I F H P 兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和 59 年 4 月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和 61 年 12 月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想（報告）が策定された。
昭和 63 年 8 月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館（仮称）設立準備室が設立された。
平成 3 年 12 月	研究・収蔵棟が完成した。
平成 4 年 3 月 25 日	本館（ホロンピア館）の模様替え工事が完了した。
平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成 4 年 6 月 25 日	ジーンファームが完成した。
平成 4 年 9 月 20 日	エントランスホールが完成した。
平成 4 年 9 月 30 日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成 4 年 10 月 9 日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成 4 年 10 月 10 日	開館。
平成 9 年 6 月 14 日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成 9 年 11 月 4 日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成 10 年 3 月 12 日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成 11 年 11 月 13 日	N P O 法人「人と自然の会」（博物館ボランティア）と協力協定を締結した。 平成 13 年 4 月兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成 14 年 4 月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成 18 年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成 14 年 10 月	博物館が開館 10 周年を迎える記念式典を行った。
平成 16 年 4 月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成 19 年 3 月	新たな「人と自然の博物館基本構想」が策定された。
平成 20 年 3 月	新たな「人と自然の博物館基本計画」が策定された。



# 機能

## 生涯学習の支援

- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広報の充実

## 担い手の養成

知識の実践

## 県民ニーズに応えた学習の場の提供

より高度な人材育成

- ・環境影響評価に関する報告
- ・人間活動と自然の関連についての提言、報告
- ・自然の保全等に関する提言、報告
- ・地域活性と自然の調和についての提言、報告
- ・公的機関、民間団体、企業等からの研究委託の受け入れ

## シンクタンク

- ・自然・環境に関する基礎的・応用的研究
- ・生態系に関する研究
- ・環境情報管理利用システムの開発研究
- ・貴重な自然の保全についての研究
- ・失われた自然環境の復元についての研究

## 調査研究

- ・公的機関、民間、企業等との共同研究
- ・公的機関、民間、企業等からの研究生等の受け入れ
- ・開発途上国、その他の海外からの留学生の受け入れ
- ・学会、研究会、シンポジウム等の開催及び参加
- ・大学、研究機関等への講師、客員研究員等の派遣
- ・海外への研修、調査、共同研究等の為の派遣
- ・研究成果の出版

## 学術交流

- ・兵庫県の自然に関する展示
- ・人と自然に関する展示
- ・新しい文化に関する展示
- ・生物の歴史と生活に関する展示
- ・地球の構成と歴史に関する展示
- ・県民による展示

## 普及教育

- ・学社連合事業の推進
- ・県民活動の支援
- ・自然に関する教育の再検討と模索
- ・自然・環境に関する教育と啓発
- ・生涯教育の推進
- ・指導者の養成
- ・研究・教育・普及活動に関する出版活動

## データバンク

- ・自然・環境に関するデータの整備と利用
- ・県下の自然に関する広範なデータの集積、整理、保存、及びその利用
- ・全国の博物館、研究機関とのデータの相互利用体制の確立

## ジーンバンク

- ・貴重な植物種の評価、保全、再生、分布
- ・絶滅寸前の植物種の保護、繁殖
- ・有用な野生植物の評価と利用

## 資料・標本 ・情報収集

- ・自然・生物、自然資源に関する資料、標本、情報の収集、整理、保管
- ・都市と自然、生活と自然に関する情報の収集、整理、保管
- ・県下既存重要コレクションの収集、整理、保管

学習成果の集積

情報の活用

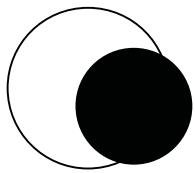
## 総合的な シンクタンク活動

## 自然・環境情報 の一元管理

## 自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危惧種の保護増殖

## 博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



# 平成20年度事業計画

## 展示プログラム

### ◆特別開館

連休や夏休みなどのお客様が博物館を利用しやすい時期は無休で開館します。

- ゴールデンウイーク（4月28日～5月6日）期間中、無休開館
- 夏休み（7月21日～8月31日）期間中、無休開館
- お正月（平成21年1月3日、4日）、新春開館

### ◆企画展

常設展では学べない新しい情報を学べるよう、2つの展示物をご用意します。

- クリプトガミック・ボタニー～隠花植物の不思議な世界  
2008年(平成20年)2月23日～2008年(平成20年)8月20日
- 『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」展  
2008年(平成20年)9月20日～2008年(平成20年)11月30日

## 学習プログラム

### ◆フロアサービス

いつ博物館に来ても楽しく学べるよう、フロアスタッフが毎日日替わりの楽しいプログラムを用意しています。

- デジタル紙芝居（土、日、祝 午前11時から11時15分、毎日午後2時30分から2時45分）  
自然について楽しく学べる、ひとはくオリジナルの動く紙芝居を大型スクリーンで上映します。
- 展示室ツアー（平日 午後1時30分から1時50分、土日祝日 午前11時30分から11時50分）  
ひとはくの展示のみどころを日替わりでフロアスタッフが楽しく紹介します。
- フロアスタッフとあそぼう（毎週土日 午後3時から3時30分）  
生き物をモチーフにした折り紙やペーパークラフト、お絵かきや塗り絵をしてフロアスタッフといっしょに遊びます。
- ふかたん「深田公園うきうき探検隊」（4月、5月、8月、9月、10月、11月、2月、3月の第4日曜日）  
ひとはくに隣接する深田公園を研究員・フロアスタッフとともに探検してさまざまな生き物を観察します。

### ◆イベント

大小さまざまなお祭りを用意して、自然や生き物への興味をもつきっかけを提供します。

- 土・日・祝日のオープンセミナー  
観覧料料のみで参加できるファミリー向け、子ども向けのプログラムを平日よりも数多く開催します。ひとはく連携グループ“NPO法人 人と自然の会”が用意する体験・体感できるイベント“ドリームスタジオ”も参加できます。
- ひとはくフェスティバル（2008年(平成20年)11月3日）  
年に一度の人と自然、人と人とのつなぐ博物館の秋祭りです。すてきなイベントを多数用意します。

■ひとはくサイエンスショー (2009年(平成21年)2月15日)

小中高等学校などの教職員や高校生も参加して、小中学生向けの実験・観察を多数実施します。

■共生のひろば (2009年(平成21年)2月11日)

県民のみなさんが地域で調べた自然、環境、文化についてのとておきの発見を報告しあう発表会を開催します。

◆オープンセミナー

観覧者対象の当日参加・受講料無料の短時間でやさしい内容のプログラムを用意します。小さなお子さまからご家族まで楽しく参加できるテーマをご用意いたしました。

◆セミナー

平成20年度は、全158テーマのセミナーを開催します。さらに学会認定の継続教育プログラムや、来館団体向けの事前予約制セミナー“特注セミナー”も多彩なタイトルを用意しています。

◆キャラバン事業・地域研究員養成事業

研究員が県下各地に出張し、展示活動やセミナー、リサーチプロジェクトなどのプログラムを通じて、各地の県民やNPO、行政などが取り組む、地域の自然・環境・文化についての学習や活動をサポートします。

◆スクールパートナープログラム

■高校連携セミナー

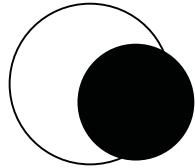
県立三田祥雲館高等学校、県立有馬高等学校およびクラーク記念国際高校と博物館が連携して、高校生と一般市民の方々が交流しながら学ぶ地域生涯学習のモデルプログラムを提供します。今年度は兵庫県立大学附属中学校との連携など高校以外に中学校、幼稚園等とも連携することを模索します。

■夏季教職員セミナー

ひとはくの有する豊富な学習資源を活用し、実験や観察を中心とする多様なセミナーを教職員に提供します。

■ボルネオジャングル体験スクール(2008年(平成20年)7月25日～8月1日)

サバ大学との共催事業として、小学校6年生から高校3年生の生徒がボルネオの熱帯雨林で地元の高校生と共に体験学習を行います。



## 常設展示の概要

### (1) ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、コレクションすることの楽しさを味わう展示です。この展示には、「鳥に魅せられて一小林桂助氏の足跡とコレクション研究」、「江田茂コレクション—世界からやってきた美麗な昆虫たち」、「博物館を支えたコレクション」、「資料トピックスコーナー」、「寄贈者リスト」などのコーナーがあります。

### (2) 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海にまたがる数少ない県であり、北部の多雪地帯から南部の暖温帶まで、多様な自然を有しています。

この展示では、兵庫県の多様な自然を紹介し、それらが人とのかかわりの中でどのように成立・維持してきたかを説明しています。兵庫の森に棲む動物たちを標高別に展示している「森に生きる」をはじめ、「池沼と海」、「六甲のアカマツ林」、「北摂の雑木林」、「氷ノ山のブナ林」、「氷上回路」、「上昇する六甲」などのコーナーがあります。

### (3) 人と自然

人と自然是これまでどのように関わってきたのでしょうか。時代とともに変化してきた人と自然とのかかわりを分かりやすく説明しています。

この展示では、「森の変遷」、「自然と調和した暮らしと風景」、「都市化の問題」、「自然のデザイン」、「警鐘」などのコーナーがあります。

### (4) 新しい文化

家庭での日々の暮らしから自然保護や環境問題まで取り上げ、それらに対する様々な取り組みが紹介されています。

この展示では、「環境にやさしい暮らし方」、「公園都市」、「水辺の復権」などのコーナーがあります。

### (5) 生物の世界

過去から現在にいたる長い年月の歴史の産物である、生物の種・分布・生活などについて標本・パネル・映像等を使って展示・紹介しています。

この展示では、「森に囲まれた渓流」、「上・中・下流の生活」、「種分化」、「変異」、「系統と収斂」、「大陸移動と生物の分布」、「日本の動植物の由来」などのコーナーがあります。

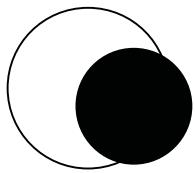
### (6) 地球、生命と大地

地球上で展開される生命の営みと進化、そして大地の運動などを標本・パネル・ジオラマ・映像などで紹介しています。

「生物世界の拡大」、「生物の上陸」、「靈長類の進化とヒトの起源」、「地球を構成する物質と構造」、「岩石に残る地磁気の記録」、「世界の森」、「世界の木材」、「共生の森」などのコーナーがあります。

### (7) ひとはくサロン

人と自然の博物館の楽しみ方は、展示室を観覧することだけではありません。4階「ひとはくサロン」では、めずらしい資料も実際にご自分の手に取ってご覧ください。また、絵本から専門図書までいっぱいの蔵書を取り揃えた図書コーナーや映像資料ライブラリ、インターネットなどを利用して、小さいお子さまから大人までたのしく学ぶことができます。土・日・祝日には、お申込なしでご参加頂ける「オープン・セミナー」も開催。深田公園を一望できる「ひとはくサロン」をぜひご利用ください。



## 施設の概要

(1) 規模 敷地（設置許可・使用承認面積）：37,036.54 m<sup>2</sup> 延床面積：18,691 m<sup>2</sup>

(2) 建物構造 • 本館（鉄骨4階建） 建面積 4,221 m<sup>2</sup> 延床面積 12,222 m<sup>2</sup>

• エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）

建面積 360 m<sup>2</sup> 延床面積 360 m<sup>2</sup>

• 研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）

建面積 2,327 m<sup>2</sup> 延床面積 5,988 m<sup>2</sup>

• ジーンファーム管理棟（軽量鉄骨平屋）

建面積 121 m<sup>2</sup> 延床面積 121 m<sup>2</sup>

• ひとはく恐竜ラボ（鉄骨平屋）

建面積 260 m<sup>2</sup> 延床面積 260 m<sup>2</sup>

(3) 施設の概要 • 本館（鉄骨4階建）

外観は、建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。

展示関係のスペースをはじめとして電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。

• エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

• 研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

• ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

• ひとはく恐竜ラボ

恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置

(4) 施設状況 • 展示関係 4,124 m<sup>2</sup> • 管理関係 349 m<sup>2</sup> • 収蔵関係 2,966 m<sup>2</sup>

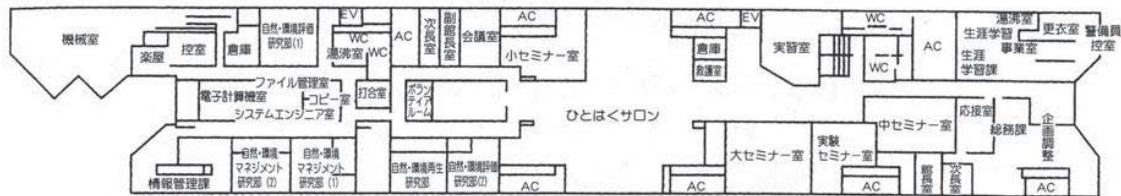
• 研究関係 2,105 m<sup>2</sup> • 教育普及関係 1,324 m<sup>2</sup> • エントランス 360 m<sup>2</sup>

• 機械、その他 7,723 m<sup>2</sup>

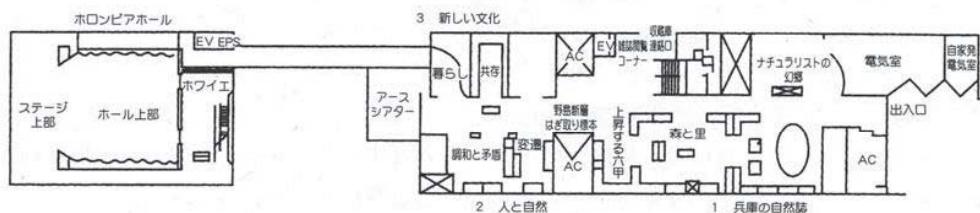
## 配置図

●本館

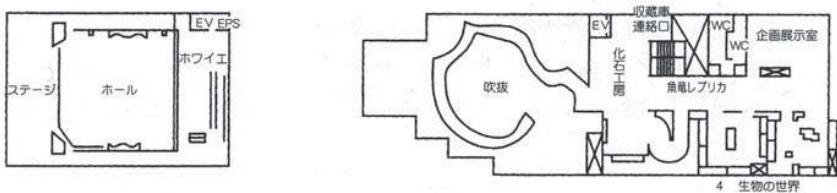
4 階



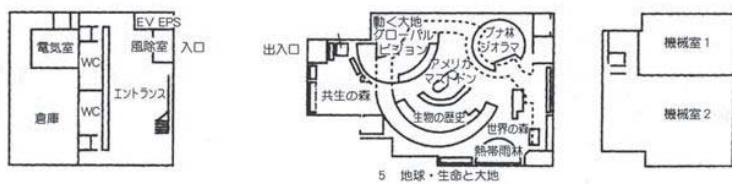
3 階



2 階

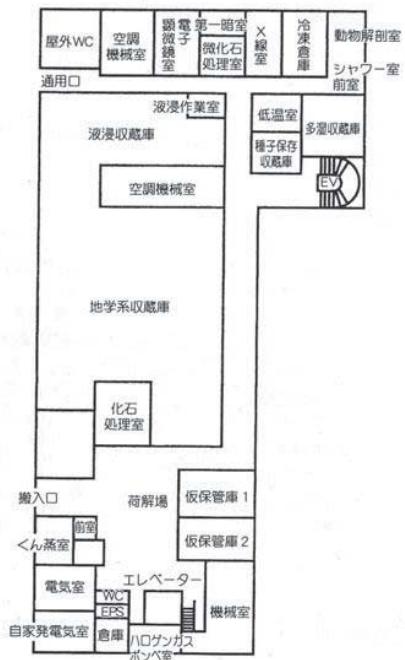


1 階

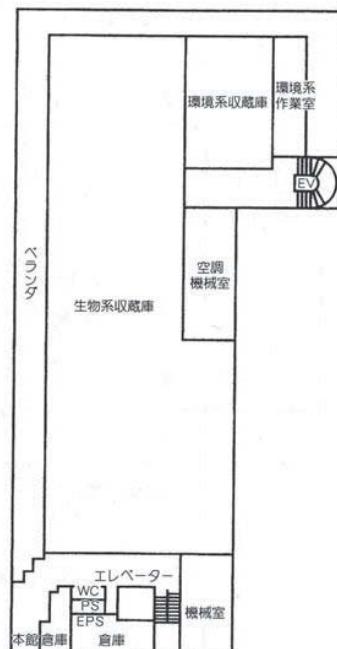


## ●研究・収蔵庫棟

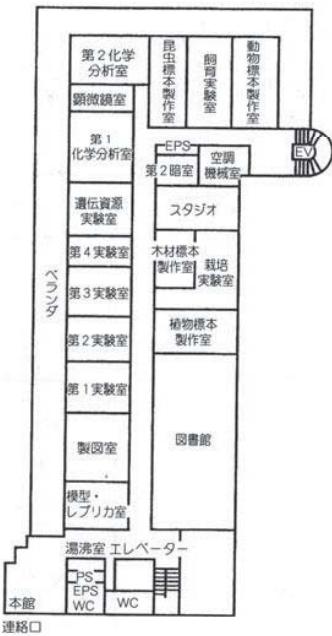
1階



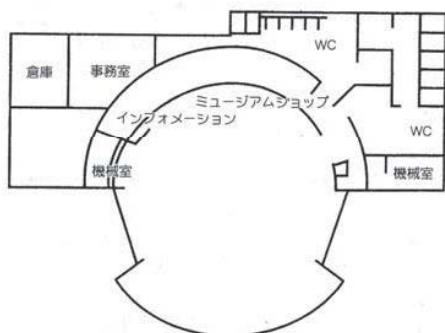
2階



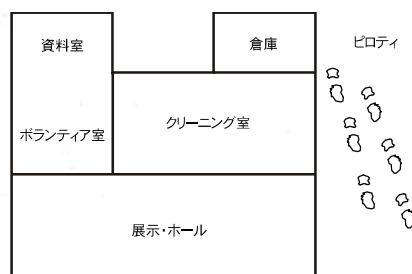
3階

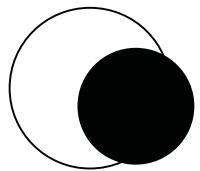


エントランスホール



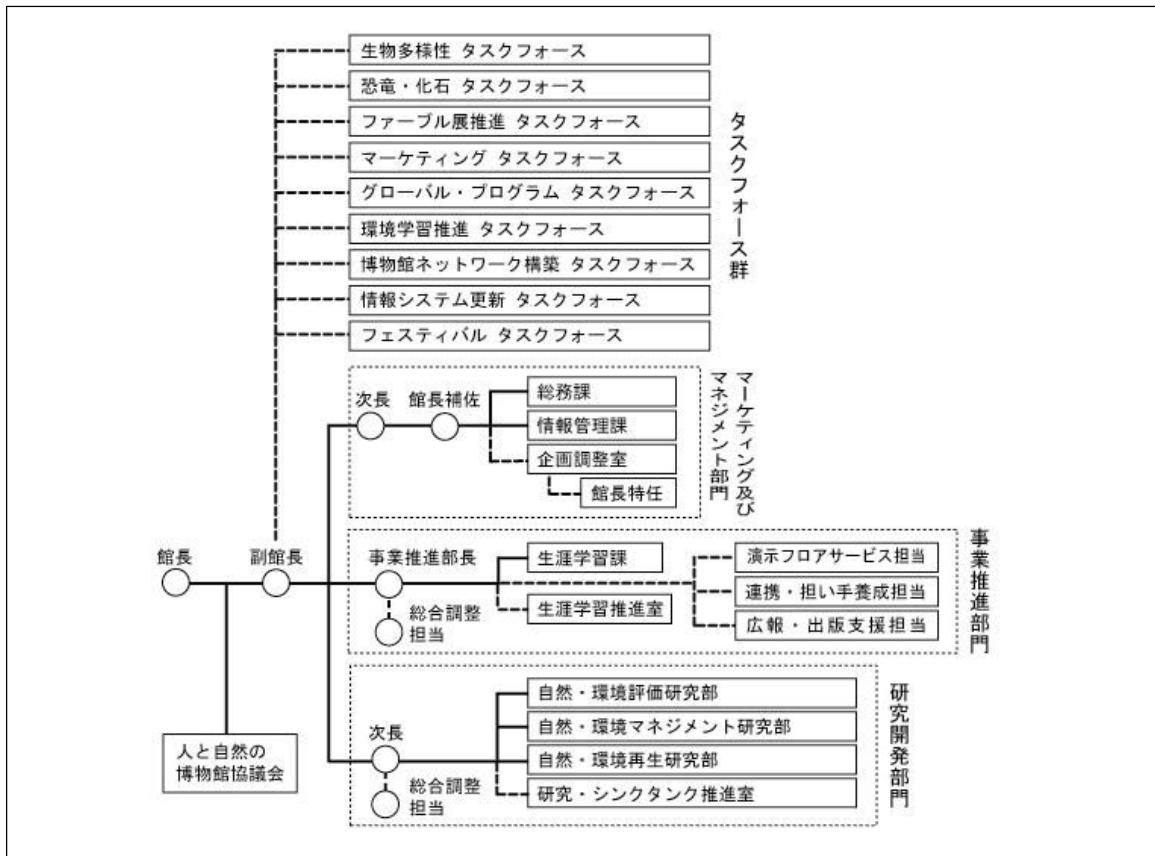
ひとはく恐竜ラボ





# 組織と職員

## (1) 組織図



※ 実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制

## (2) 職員数

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	2 (館長・名誉館長)	9
情報管理課	2				2
生涯学習課	4				4
自然・環境評価研究部		7 (兼務 9)		1	8 (兼務 9)
自然・環境マネジメント研究部		3 (兼務 10)			3 (兼務 10)
自然・環境再生研究部		2 (兼務 5)			2 (兼務 5)
合計	12	12 (兼務 24)	1	3	28 (兼務 24)

※ (兼務) は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職員

### (3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
館長	岩瀬 邦男
副館長	中瀬 獲
次長（事務系）	坂本 啓
次長（研究系）	江崎 保男
館長補佐	西向 寛昭
事業推進部長	(副館長兼務)
事業推進部門総合調整担当	服部 保
研究開発部門総合調整担当	小林 文夫

#### 【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課	
課長	(館長補佐兼務)
主査	岡井 豊英
主査	川東 丈純
主査	前田容未子
事務職員	津田奈保子
技師	塙本 健司
情報管理課	
課長	藤村 仁志
主任指導主事	本田 純
企画調整室（研究員兼務）	
室長（主任研究員）	田原 直樹
副室長（研究員）	小館 誓治
主任研究員	八木 剛
研究員	遠藤菜緒子
研究員	山崎 義人
研究員	田口 勇輝
館長特任（研究員兼務）	
研究部長（自然・環境マネジメント研究部）	江崎 保男
研究部長（自然・環境再生研究部）	服部 保
研究部長（自然・環境評価研究部）	高橋 晃
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	先山 徹
研究員	藤本 真里
課長	藤村 仁志

#### 【事業推進部門】

生涯学習課	
課長（主任指導主事）	平松 紳一
指導主事	春名 潤一
主査	小林 美樹
主任	矢野 啓司
特命研究員	長谷川太一
生涯学習推進室	
室長（主任研究員）	佐藤 裕司
副室長（研究員）	鈴木 武
演示フロアサービス担当（研究員兼務）	
マネージャー（研究員）	石田 弘明
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	藤井 俊夫
主任研究員	半田久美子
研究員	遠藤菜緒子
連携・担い手担当（研究員兼務）	
マネージャー（研究員）	橋本 佳延
主任研究員	八木 剛
研究員	藤本 真里
研究員	池田 忠広
広報・出版支援担当（研究員兼務）	
マネージャー（研究員）	鈴木 武
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	三谷 雅純
研究員	赤澤 宏樹
研究員	山崎 義人
研究員	嶽山 洋志

#### 【研究開発部門】

自然・環境評価研究部	
研究部長	高橋 晃
研究部長代理（主任研究員）	佐藤 裕司

研究部長代理（主任研究員）	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘

#### （埋蔵自然遺産研究グループ）

主任研究員	古谷 裕
主任研究員	半田久美子
主任研究員	松原 尚志
主任研究員	三枝 春生
研究員	池田 忠広

#### （森林多様性研究グループ）

研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
研究員	福田 知子
研究員	布施 静香

#### 自然・環境マネジメント研究部

研究部長	江崎 保男
研究部長代理（主任研究員）	田原 直樹
（流域生態研究グループ）	
研究部長	江崎 保男
主任研究員	田中 哲夫
主任研究員	三橋 弘宗

#### （動物共生研究グループ）

主任研究員	大谷 �剛
主任研究員	三谷 雅純
研究員	遠藤菜緒子
研究員	田口 勇輝
（ミニテラザイン（多自然居住）研究グループ）	

副館長	中瀬 獲
研究員	藤本 真里
研究員	赤澤 宏樹
研究員	嶽山 洋志
（ミニテラザイン（都市再生）研究グループ）	

研究部長代理（主任研究員）	田原 直樹
主任研究員	客野 尚志
研究員	山崎 義人

#### 自然・環境再生研究部

研究部長	服部 保
（植生創出研究グループ）	
研究部長	服部 保
研究員	小館 誓治
研究員	石田 弘明
研究員	橋本 佳延
（生物多様性保全研究グループ）	
主任研究員	藤井 俊夫
研究員	鈴木 武
研究員	黒田有寿茂

#### 研究・シンクタンク推進室（研究員兼務）

室長（主任研究員）	田中 哲夫
副室長（主任研究員）	加藤 茂弘

#### 研究促進・総合共同研究推進担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	加藤 茂弘
主任研究員	八木 剛
研究員	藤本 真里
研究員	石田 弘明
研究員	遠藤菜緒子

#### 研究環境整備・研究紀要担当（研究員兼務）

マネージャー（主任研究員）	秋山 弘之
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	三谷 雅純
主任研究員	藤井 俊夫
研究員	山崎 義人
研究員	嶽山 洋志

**資料データバンク整備活用担当（研究員兼務）**

マネージャー（研究員）	布施 静香
マネージャー（主任研究員）	高野 温子
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	松原 尚志
研究員	赤澤 宏樹
研究員	橋本 佳延

**ジーンバンク活用担当（研究員兼務）**

マネージャー（研究員）	黒田有寿茂
-------------	-------

**【タスクフォース群】****生物多様性タスクフォース**

リーダー（研究部長）	服部 保
サブリーダー（研究員）	橋本 佳延
サブリーダー（主任研究員）	三橋 弘宗
	高野 温子
	藤本 真里
	赤澤 宏樹

**恐竜・化石タスクフォース**

リーダー（研究部長）	高橋 晃
サブリーダー（主任研究員）	先山 徹
サブリーダー（主任研究員）	三枝 春生
サブリーダー（研究員）	藤本 真里
	佐藤 裕司
	小林 文夫
	古谷 裕
	半田久美子
	松原 尚志
	客野 尚志
	嶽山 洋志
	池田 忠広
	岡井 豊英
	平松 紳一

**ファーブル展推進タスクフォース**

リーダー（研究部長）	高橋 晃
サブリーダー（主任研究員）	橋本 佳明
サブリーダー（研究員）	赤澤 宏樹
	大谷 剛
	八木 剛
	半田久美子
	沢田 佳久
	橋本 佳延
	川東 丈純
	春名 潤一

**マーケティングタスクフォース**

リーダー（研究部長）	服部 保
	客野 尚志
	石田 弘明
	小林 美樹

**グローバル・プログラムタスクフォース**

リーダー（研究部長）	江崎 保男
	高橋 晃
	橋本 佳明
	高野 温子
	石田 弘明
	黒田有寿茂

**環境学習推進タスクフォース**

リーダー（主任研究員）	大谷 �剛
	田中 哲夫
	古谷 裕
	先山 徹
	藤井 俊夫
	赤澤 宏樹
	本田 毅
	春名 潤一
	長谷川太一

**博物館ネットワーク構築タスクフォース**

リーダー（主任研究員）	先山 徹
	八木 剛
	鈴木 武
	三橋 弘宗
	津田奈保子

**情報システム更新タスクフォース**

リーダー（課長）	藤村 仁志
	田中 哲夫
	秋山 弘之
	橋本 佳明
	加藤 茂弘
	高野 温子
	赤澤 宏樹
	布施 静香
	黒田有寿茂
	遠藤菜緒子
	本田 毅
	小林 美樹

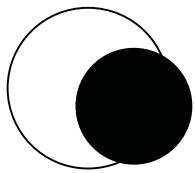
**フェスティバルタスクフォース**

リーダー（研究員）	藤本 真里
	佐藤 裕司
	鈴木 武
	石田 弘明
	橋本 佳延

(平成 20 年 4 月 1 日現在)

なお下線は館長辞令による、人と自然の博物館独自の職制

# **平成19年度事業報告**



## ひとはくトピックス

### 1

### 竜脚類の環椎および歯を新たに発見！

2006年(平成18年)8月に村上・足立両氏により丹波市山南町から恐竜の仲間である竜脚類の化石が発見された。この竜脚類の化石はほぼ一体分が埋蔵されている可能性が高く、数次にわたる発掘が計画されているが、その第二次発掘が2007年(平成19年)11月～2008年(平成20年)3月に行われた。第一次発掘では尾椎(尻尾の骨)から腸骨(腰の骨)と骨がほぼ関節した状態で発掘されたが、第二次発掘ではそれに続く胴体部分の骨、肋骨十数本が発掘された。これらに加え第二次発掘では、環椎と未使用の歯が発見された。環椎は最も前に位置する頸椎(頸の骨)で頭骨と関節するが、より後ろの頸椎と比べると非常に小さく、そのため竜脚類では他の頸椎にくらべ環椎が発見されることは世界的にも稀である。最も発見しにくい環椎が見つかったので第三次発掘ではさらに他の頸椎が発掘され、頸椎全てが見つかる可能性が出てきた。また未使用の歯は、それが植わっていた頬が近くに埋まっていることを示唆している。第一次発掘では頭骨の一部である脳窓が発見されたが、未使用の歯の発見により第三次発掘ではさらに多くの頬などの頭骨の部品が出てくるのではと期待が膨らんでいる。



### 2

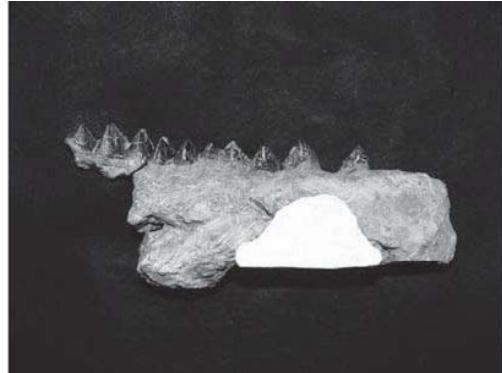
### 丹波市山南町に「ひとはく恐竜ラボ山南ルーム」がオープン！

丹波市山南町で行われた竜脚類化石の発掘では、化石骨を含む巨大な岩塊が岩盤から切り出された。こうした化石を含む岩塊は、崩れないようにプラスチックジャケットと呼ばれる石膏の保護カバーをかけてから岩盤から切り出す。発掘後には、このプラスチックジャケットを開封し、岩塊から化石を取り出し、丁寧に化石に付着している岩石を除去する作業が必要である。こうした作業をクリーニングと言い、大変根気と熟練の要る作業だが、大変やりがいのある仕事でもある。発掘には大勢の方々にボランティアとして参加していただき、博物館と地元の方々が一緒になって発掘を成功させたが、クリーニング作業も、地元の方々と一緒に進め、その様子をさらに多くの方々に見ていただく必要があるだろう。こうしたねらいのもと、丹波市によりひとはく恐竜ラボ山南ルームが山南町に2007年(平成19年)12月1日に開設された。山南ルームにはひとはくの研究員が技術指導のため定期的におとずれ、地元の方々と一緒に恐竜化石のクリーニングをすすめている。その様子はガラス越しに見て頂くことができるため、山南ルームは多くの人が訪れる丹波市の新名所となっている。

### 3

## 三田市から新種の化石哺乳類サンダタンジュウが発見される！

2004年(平成16年)に三田市富士が丘の道路の切り割り(法面)に露出する神戸層群という地層から約3千7百万年前の哺乳動物の化石が本館研究員により2種類発見された。林原自然博物館の鈴木博士らと共同研究を進めた結果、そのうちの一つ、頬歯付き下顎骨は炭獣類の新種サンダタンジュウ (*Bothriodon sandaeensis*) であることが判明、2007年(平成19年)8月に地球科学の専門誌 *Island Arc* に論文が掲載された。炭獣類は約4千万年前から250万年前にかけてユーラシア、北米、アフリカに分布していた偶蹄類である。炭獣の“炭”は石炭のことで、この仲間の化石が炭田で初めて見つかったことに由来している。最近、カバは炭獣類の一部から進化したとする説が有力となっている。海外の *Bothriodon* と比べると、三田の新種はこの属でも初期のものであることが分かる。1999年(平成11年)にもザイサンアミノドンというサイの化石が神戸市北区赤松台と上津代に露出していた神戸層群から本館研究員により発見されており、国内ではまれな3千万年前以前の哺乳類化石が、将来神戸層群から再び発見される可能性がある。



### 4

## 岩槻邦男館長が文化功労者に！

岩槻邦男館長が平成19年度文化功労者に選ばれた。本顕彰を受けることになった主な理由は、まず、長年にわたってシダ植物の系統と分類に関する研究を推進し、日本の植物分類学を世界レベルへと押し上げた功績が認められたことである。また、在野の研究家と協力しレッドデータブック(絶滅のおそれのある野生生物の情報をまとめた本)の作成を行ったこと、そして、生物多様性の保全など地球環境問題への貢献が認められたことによる。

今回評価された功績は大学で教鞭をとっていた頃のものであるが、その顕彰理由はいずれも博物館の活動に直結する。植物分類学者であり生物多様性分野を振興する館長が本顕彰を受けたことは、「わが国において博物館活動を振興すべし」という大きな流れが表面に現れはじめた結果だと言えよう。



## 5

# 博物館で大学院生が研究を始める！

2007年4月より、人と自然の博物館をキャンパスとした大学院教育がスタートした。この大学院は兵庫県立大学の環境人間学研究科前期課程に新しく設置された「共生博物部門」である。共生博物部門は生物多様性分野と環境戦略分野からなり、県立大学の自然・環境科学研究所に所属する10名（2008年4月からは11名）の教員が学生の指導を担当している。この部門では、生物多様性保全の観点から人と自然の関係性の本質を統合的に理解し、地域社会において人と自然の共生のあり方を提案する専門家の育成をめざす。フィールドワークを取り入れた実践的な活動と大学院教育をリンクさせた特色あるカリキュラムを組み、授業は社会人入学に対応できるように集中講義形式を採用し、土・日曜日に開講の授業を履修するだけで単位の修得ができる。初年度は社会人2名を含む8名（定員は6名）が入学した。院生たちは博物館以外に、兵庫県立コウノトリの郷公園と兵庫県森林動物研究センターもキャンパスとしながら、実践的な知識と技術を培い、修士号の取得をめざし研究に励んでいる。



## 6

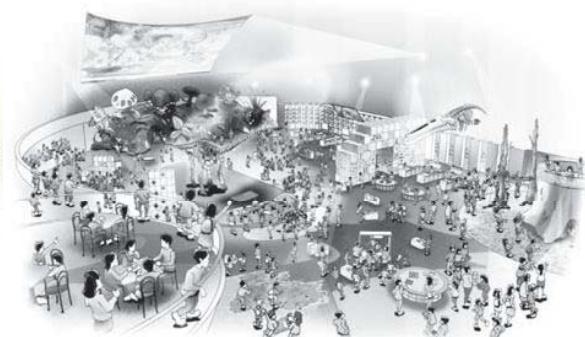
# 人と自然の博物館基本計画を策定！

平成20年3月に「新たな人と自然の博物館基本計画」が策定された。「新たな人と自然の博物館」基本構想に基づいて、今後のひとはくのあり方・方向性をより具体的な計画としたものである。策定にあたっては、ネクスト推進室が担当して、策定業者として株式会社丹青社が加わり、基本計画委員会で議論を深めて、基本計画を策定した。

基本計画の中では、利用者の見る、聞くのみの展示だけでなく、利用者とモノの間に人が介在する「演示」

が重要であり、「演示」は関心の薄い人の興味を誘発し、利用者の積極的な活動への参加を促す効果があり、新しいひとはくにおいて重要な手法であると結論された。演示を行うのは、ひとはくの研究員がのみ行うのではなく、ひとはくとともに活動する「担い手」の重要性にも示された。

「演示」「担い手」などソフト面の充実のために、大空間展示ゾーン、県民ラボ・担い手グループゾーンなどを含む6,100 m<sup>2</sup>の新館が提案されている。さらに新館ができるまでに、演示の試行や担い手の育成を先行する計画を提示している。このような新たなひとはくは、知の体験を通して環境優先社会の実現を目指していくものである。



# 7

## キャラバン事業と総合共同研究を統合、地域研究員の養成を重点化！

「ひとはくキャラバン」は、平成 18 年までの 5 年間に約 70 会場で開催され、約 52 万の方々に地域の自然・環境・文化に触れる機会を提供してきた。しかし、兵庫県民 560 万人すべての方に提供するにはまだまだ活動が足りない。ひとはくの研究員の人数も限られており、これをひとはくだけで成し遂げるには力不足である。

そこで、ひとはくは平成 19 年度からは、キャラバンを、地元の自然・環境・文化を伝える活動の中心となる人々を支え、活動の輪を広げるための長期・地域密着型の事業に衣がえした。県下 5 地域で 3 年間の継続したプログラムを実施し、地域の方が自ら情報発信する力を身につけることのできるメニューを提供する。またその地域を深く知るための研究活動も促進し、地域から魅力的な“自然・環境・文化”の情報を地域の方々とともに発信できるよう体制を整えた。19 年度は地域での研究素材の原石を探すことに入力を入れ、平成 20 年度からは成果を得るために磨きをかけてゆくことになる。ひょうごに住む一人一人にそのすばらしさが伝わるような、そんな新しい「ひとはくキャラバン」の活動にご期待いただきたい。



# 8

## マレーシア国立サバ大学との学術交流協定を更新！

ひとはくとマレーシア国立サバ大学は 1997 年 6 月 14 日に国際学術交流協定を締結し、この協定にもとづいてこれまで共同学術調査、ジャングル体験スクール、淡路花博での熱帯雨林展示、JICA の海外協力事業への協力など、さまざまな事業を実施してきた。この交流協定は 5 年間の協定で、2002 年に 1 回目の更新が行われた。本年が 2 回目の更新の年にあたり、7 月 29 日調印式がサバ大学で行われた。セレモニーにはマレーシア政府の高等教育局長らが招かれ、盛大に行われた。調印式の様子はサバ州の新聞にも大きく取り上げられた。ひとはくからは岩槻邦男館長と坂本啓次長が出席し、岩槻館長とサバ大学のモハッド・ノー・ダリミン学長が協定書にサインした。この学術交流協定は、ひとはくの学術研究や普及教育活動を推進するうえでたいへん良い効果をもたらしており、今後も両者の良好な関係維持が期待される。



## 9

# 共生のひろばでの発表数が46件（昨年度34件）、 聴講者は205人に！

人と自然の博物館では毎年2月11日に、各地域でひとはくの研究員と連携して様々な活動を行っているグループや個人による日頃の研究や活動成果の発表の場として、「共生のひろば」を開催している。一昨年に始まり、2008年で3回目となった。発表の数は年々増加して、今回は口頭発表が19件、ポスター・展示などによる発表が26件にもなっている。参加者数も一般の聴講者を含めては200人を超えるほどになった。昨年までは博物館4階の大セミナー室で大勢の立ち見に囲まれながら発表が行われていたが、今回は参加者のさらなる増加が予想されたため、思い切って会場をホロンピアホールとした。そのせいか聴講者もゆったりと発表に集中することができた。発表会終了後に行われた茶話会では、特に優秀な発表に贈られる館長賞が口頭で2件、ポスター・展示で1件、ユニークな発表に対して贈られる名誉館長賞が口頭、ポスター・展示各2件に贈呈され、多くの参加者の拍手を浴びていた（下表）。

名 誉 館 長 賞	口頭	網を持って逆瀬川へ行こう！～家族で燃えたミヤマアカネ・マーキング2007～	清水知子・清水政志・清水 要・清水 円(あかねちゃんクラブ)
	口頭	run♪run♪plazaが拓くユニアナチュラリストの未来	小西真弓(run♪run♪plaza)
	ポスター	空木(うつぎ)という名の植物～茎の中は空洞か？～	西野眞美(植物リサーチクラブ)
	ポスター	鳴く虫マップ2007 神戸市北区道場町日下部の有野川周辺	宮武美恵子(鳴く虫研究会「きんひばり」)
館 長 賞	口頭	亜熱帯性の蛾イチジクヒトリモドキの兵庫県姫路市における発生状況	占部晋一郎(テネラル)
	口頭	有馬富士公園湿地ゾーンにおけるインターブリデーションの提案	大根裕士・神田将史・高橋俊介・福永一登(兵庫県立淡路景観芸術学校),田中沙紀・久保友美・小室宏美・野下彩香・古川舞美・山脇麻代(神戸学院大学)
	ポスター	平成19年度湿地管理に関する勉強会 いのちの宝庫・湿地	西村朱吉史・荒川秀夫・小谷繁子・武田禎子・松原朋恵・宮村良雄(平成19年度湿地管理に関する勉強会受講生)

## 10

# 兵庫県立大学附属中学校との連携を強化！

平成19年6月13日、人と自然の博物館は兵庫県立大学附属中学校と「総合的な自然・環境学習プログラムの研究開発・実践研究に関する協定書」の調印式を行った。

平成19年4月に開校した県立大学附属中学校は、特色ある教育課程や県立大学との連携の充実を図り、生徒の個性を生かした主体的な学びを促し、研究心旺盛で創造力溢れる生徒の育成をめざす県下唯一の併設型中高一貫校である。

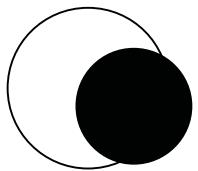
この協定により、広く県下の学校教育や社会教育の充実に資するため、自然や環境について強い興味・関心を持ち、専門的な学習に取り組む能力と意欲を有する生徒の育成をめざし、ひとはくの有する知的資源と県立大学附属中学校の学校教育環境の連携によって、総合的な自然・環境学習プログラムの研究開発とその実践研究に両者協力して取り組むことに合意した。



## 人博収蔵資料目録第6集「佐藤コレクション目録—アジア・アフリカ産フタオチョウ標本」の出版！

佐藤コレクションは、京都市在住の佐藤英次氏から 1992 年、2005 年、2006 年の三次にわたって人と自然の博物館に寄贈いただいたフタオチョウ類標本 5,000 点を超える兵庫県立人と自然の博物館収蔵資料である。フタオチョウはタテハチョウ科の 1 亜科 Charaxinae であり、名前が示す通りこのグループの種の多くでは、左右の後翅に 2 つの尾状突起を持っている。大型で美麗な種が多いことから、世界中のチョウ愛好者の注目を集めるグループである。今回、本コレクションからアフリカ、アジア、オセアニア地域、およびその間に存在する多数の島嶼に産する Charaxes 属および Polyura 属のフタオチョウ類 182 種、488 亜種の標本データを人博収蔵目録として出版することとなった。本冊子には標本データに合わせて、480 点のフタオチョウ標本カラー画像（翅表・裏）を掲載しており、現在の日本におけるフタオチョウ類資料目録としては最も充実したものと考えられる。研究や普及活動の資料として、ご活用いただければ幸いである。





## 事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標は、いわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で 9 項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標値（指標）が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として「措置」が設定されている。措置では、中期目標の達成と博物館活動の活性化に資する具体的な項目について、その行動の方針と、具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して、平成 19 年度の博物館の活動内容とその自己評価、および平成 20 年度の事業計画を整理したものである。また、中期目標を支える措置の項目については、それぞれについての目標値・実績・達成度（%）を示した。

なお、平成 19 年度の中期目標と指標、および措置は、平成 14 年度から平成 18 年度の活動成果をふまえて、さらに社会のニーズへの対応を考慮して作成した検討案である。平成 20 年度は、平成 19 年度の実績や達成状況、博物館の将来構想を吟味したうえで中期目標と措置の最終案を設定し、それに従って事業を進めていく。

# I 研究

「新たな博物館基本構想」の実現に向け、新しいプログラムやコンテンツ開発、生涯学習支援・シンクタンク活動の基礎となる研究を遂行する

**1** 兵庫から世界を対象に自然・環境に関する調査研究を行い、その成果をフィードバックする。

## 指標1：学術論文数

学会誌等審査付き論文の本数

## 指標2：一般向け著書・総説その他数

自費出版以外の一般向け著書、雑誌・新聞等への執筆数

担当課室  
研究開発  
会議

### 学術論文数

#### 達成度

目標 40本／年 に対して

**110.0 %  
(44本)**

### 一般向け著書

#### 総説・その他数

#### 達成度

目標 120本／年 に対して

**48.3 %  
(58本)**

### 解説

#### ①H19年度の取り組み

人と自然の共生に関する研究を推進するため、各研究員が年間に最低1本の学術論文を執筆し、その成果を世に発信するべく年間3本程度の一般向け著作を書くことを目標にして、共同研究等によりくんだ。

#### ②H19年度の到達状況の自己評価

学術論文数は目標を達成できたが、一般向け著作数は達成できなかつた。研究員が依頼原稿を積極的に執筆したり、執筆のチャンスを積極的に獲得したりする姿勢が必要である。

#### ③H20年度の取り組みの予定

研究員の執筆意欲をたかめるべく、学術交流の推進・競争的研究資金の獲得・国際共同研究の推進などを進める。

### ◆ 研究・資料を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	研究関連の項目				
	学術論文本数	一般向け著書 (総説・その他)本数	学会発表件数	研究助成金獲得 金額(万円)	学会役員等 の件数
目標値	40	120	80	2000	10
実績	44	58	29	3195.9	35
達成度(%)	110.0	48.3	36.3	159.8	350.0
					117.5

項目	資料関連の項目					
	館員採集資料 受入件数	寄贈資料受 入件数	資料登録件 数	収蔵資料貸 出件数	収蔵資料のキャラ バン展示件数	マルチメディアデータ 等貸出件数
目標値	10	10	10000	10	10	10
実績	4	29	10609	16	7	14
達成度(%)	40.0	290.0	106.1	160.0	70.0	140.0
資料関連の項目						
項目	収蔵庫利用者人 数(人)	貸出可能な資料・教材の 開発件数	資料目録等の出版冊数	連携ネットワークへの公開 データ件数		
目標値	1000	1	1(H23年度までに5)	10000		
実績	1228	0	1	20000		
達成度(%)	122.8	0.0	25.0	200.0		

(注) 網掛け部は未達成の項目である。

## II 資 料

「新たな博物館基本構想」の実現に向け、特色ある質の高い資料を収集し、整備し、利活用を図る

### 1

質の高い資料の収集とその利活用を積極的に推進する。

#### 指標 1：寄贈・館員採集資料受入件数

#### 指標 2：資料の登録件数

#### 指標 3：資料の利活用件数

収蔵資料の研究・普及教育事業への貸出や展示利用件数

#### 指標 4：資料の公開促進件数

資料目録等の出版冊数

担当課室  
研究開発  
会議

#### 寄贈・館員採集資料受入件数

##### 達成度

目標 20 件／年 に対して

**165.0 % (33件)**

#### 資料の登録件数

##### 達成度

目標 10000 件／年 に対して

**106.1 % (10609 件)**

#### 資料の利活用件数

##### 達成度

目標 30 件／年 に対して

**123.3 % (37件)**

#### 資料の公開促進件数

##### 達成度

目標 H23 年度までに 5 件に対して

**20.0 % (1件)**

### 解 説

#### ①H19 年度の取り組み

資料および各種の情報を効率よく収集・保存・活用すべく、受け入れから発信にいたるシステム整備に力をそそいだ。

また、博物館協議会等の組織の力をかりて、資料・情報整備の動機付けをおこなった。

#### ②H19 年度の到達状況の自己評価

受入数は目標を大きく上回り、登録・利活用とともに目標値を達成できたが、公開促進件数は目標を大きく下回った。

受け入れから発信にいたるシステム整備が功を奏したと考えられるが、努力目標が残ったと考える。

#### ③H20 年度の取り組みの予定

引き続きシステム整備・効率化・スリム化を進めるが、発信にいたらないと資料・情報の価値が十分生かされない、という意識を館員が共有する必要があり、資料にかかる館内組織の整備・効率化・スリム化を進める。

#### ■ 指標実績値の算出根拠 ■

寄贈・館員採集資料受入件数:寄贈資料受入件数(29 件) + 館員採集資料受入件数(4 件)

資料の利活用件数:収蔵資料の貸出件数(16 件) + キャラバン展示件数(7 件) + マルチメディアデータ等貸出件数(14 件)

### III 生涯学習の支援

県民個々のニーズにきめ細かく対応するとともに、「新たな博物館基本構想」を共に実現する「担い手」を養成する

1

県民の生涯学習に即した段階的・連続的な自然・環境に関する学習プログラムを提供し、参加者数、参加者層を拡大する。

#### 指標1：企画展等の開催数

博物館で開催する企画展、トピックス展、ミニ企画展、他団体との共催展示の開催件数

#### 指標2：「演示」プログラム件数

担当課室  
生涯学習  
推進室

#### 企画展等の開催数

##### 達成度

目標 20件／年 対して

**105.0 % (21件)**

#### 「演示」プログラム件数

##### 達成度

目標 50件／年 対して

**98.0 % (49件)**

#### 解説

##### ①H19年度の取り組み

来館者サービスとして、オープンセミナーや企画展等（トピックス展やミニ企画展を含む）を数多く開催した。そのことを通じて、来館者に自然や環境への関心と学習意欲を喚起し、学習プログラムへの再参加を促すことに取り組んだ。

##### ②H19年度の到達状況の自己評価

企画展等の開催数は目標を達成した。一方、オープンセミナーでは「人が介在する」学習プログラムの提供を心がけ、今後の事業活動の主眼となる「演示」を意識した活動を開催した。

##### ③H20年度の取り組みの予定

ひとはくサロンに「演示」を主目的としたスペース（正式名称は検討中）ができたことから、この一年間さまざまな活用方法を試行し、スペースの効果的な運用と演示の内容などを検討する。

#### ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	生涯学習支援関連の項目				
	実入館者数(人)	観覧料収入(円)	学習プログラム参加者数(人)	オープンセミナー等イベント参加者数(人)	ひとはくフェスティバル参加者数(人)
目標値	150,000	6,000,000	5,000	20,000	20,000
実績	111,595	8,662,700	5,209	26,540	15,439
達成度(%)	74.4	144.4	104.2	132.7	77.2

項目	生涯学習支援関連の項目				
	年間相談件数(BBS)	特注セミナー数	講師派遣件数	体験学習(トライやる等)受入人日	各種研修受入人日
目標値	450	300	200	150	100
実績	276	329	241	124	75
達成度(%)	61.3	109.7	120.5	82.7	75.0

### III 生涯学習の支援

県民個々のニーズにきめ細かく対応するとともに、「新たな博物館基本構想」を共に実現する「担い手」を養成する

## 2

県民の生涯学習に即した段階的・連続的な自然・環境に関する学習プログラムを提供し、参加者数、参加者層を拡大する。

**指標3：ビジター数  
指標4：学校団体来館件数  
指標5：県民からのリクエスト対応件数**

担当課室  
生 涯  
学習課

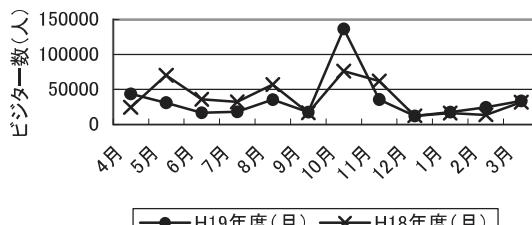
#### ビジター数

##### 達成度

目標 300,000人／年 に対して

**142.0% (426,139人)**

ビジター数の動向  
(恐竜化石発掘現場と山南化石工房分を加算)



#### 解 説

##### ①H19年度の取り組み

館内でのオープンセミナー、特注セミナーの開催数を増やし、下見時に紹介とともに、その広報にも努めた。

館外でも丹波の恐竜化石の発掘調査を公開し、12月からはクリーニング作業を公開で行う「ひとはく恐竜ラボ・山南ルーム」のオープンなどを広く広報した。

##### ②H19年度の到達状況の自己評価

本館では特注セミナーの開催数を増やし、館外では共催事業、丹波の恐竜化石の発掘調査やクリーニング作業の公開などにより、ビジター数は目標を超えた。

学校団体の入館も、見学だけでなくセミナー受講が定着しつつあり、昨年度以上の来館があった。

##### ③H20年度の取り組みの予定

丹波の恐竜化石展示、「ひとはく恐竜ラボ」の紹介、さらに「ファーブルにまなぶ展」などの広報を充実させて来館者増に努める。

また、特注セミナーを受講していただきやすくするため「ひとはく手帖」をわかりやすく編集した。下見等でも紹介してビジター数、団体数の確保に努める。

#### 学校団体来館件数

##### 達成度

目標 300校／年 に対して

**103.0% (309校)**

内訳：幼稚園・保育園 40校、小・中・高・大学等が 269校

#### 県民からのリクエスト対応件数

##### 達成度

目標 500件／年 に対して

**121.0% (605件)**

内訳：BBSによる相談件数 276件、特注セミナー開催件数 329件

### III 生涯学習の支援

県民個々のニーズにきめ細かく対応するとともに、「新たな博物館基本構想」を共に実現する「担い手」を養成する

## 3

新たな博物館構想の実現に向けて、「担い手」を養成し、その活動を支援する。

#### 指標1：担い手の活動数（人日）

地域研究員・連携活動グループ会員の来館人日、担い手と館員の連携事業への参加者数、体験学習や各種研修の受入人数の総計

#### 指標2：担い手の登録人数

地域研究員登録者数と連携活動グループ登録会員数

担当課室  
生涯学習  
推進室

#### 担い手の活動数

##### 達成度

目標 5000 人日／年 に対して

**50.0 % (2497人日)**

#### 担い手の登録人数

##### 達成度

目標 H23 年度までに 500 人 に対して

**64.0 % (319人)**

#### 解説

##### ①H19 年度の取り組み

地域研究員制度に関して懸案となっていた設置要綱の確定を最重点課題とした。地域研究員および上級地域研究員の定義と基準を明確化し、協力協定の締結と認定までの手続きを整備することに取り組んだ。

##### ②H19 年度の到達状況の自己評価

連携活動グループは 5 件の新規登録があり、担い手の登録人数は 319 人（達成度 64%）に達した。しかしその一方で、地域研究員登録者数は伸び悩んだ。地域研究員・上級地域研究員制度の設置要綱を整備したこと、今後は登録者数が増加するものと思われる。

##### ③H20 年度の取り組みの予定

共生博物館地域研究員養成事業として、第 4 回「共生のひろば」を開催するとともに、これまでの「共生のひろば」での発表者を中心に地域研究員への登録を働きかける。この事業が県の重要施策として最終年を迎えることから、次年度以降の事業のあり方を検討する。

#### ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	生涯学習支援関連の項目					
	地域研究員の来館人日	連携活動グループ会員来館人日	担い手と館員の連携事業への参加者数	共生のひろばでの発表件数	地域研究員養成講座開催日数	地域研究員養成講座参加者数
目標値	750	4,000	100	50	20	200
実績	68	2,085	145	46	75	2,354
達成度(%)	9.1	52.1	145.0	92.0	375.0	1177.0

項目	生涯学習支援関連の項目						
	セミナークラブ会員		地域研究員		連携活動グループ		
	新規登録数	累計数	新規登録数	累計数	新規登録数	累計数	登録会員数累計
目標値	200	3,000	40	100	5	40	400
実績	246	2,410	3	8	5	15	311
達成度(%)	123.0	80.3	7.5	8.0	100.0	37.5	77.8

#### ■ 累計目標値について ■

セミナークラブ会員・地域研究員・連携活動グループの累計目標値は、平成 23 年度末までに達成することを想定した数値である。

## IV シンクタンク活動の支援

共に考え、共に行動する総合的なコミュニティシンクタンクを目指す

1

自然・環境に関する県政課題に対して、適切な助言や提言等を行う。また企業や行政団体等からの依頼に応じて調査研究を実施する。

### 指標 1：県政に対する貢献度

県政関連の委員会等への参画数、県職員等の相談件数

### 指標 2：県政課題論文著書等数

県政課題に関する論文著書、その他著作、研究発表等の総数

### 指標 3：受託研究件数

### 指標 4：植物の育成、種子保存等についてのノウハウ提供依頼件数

担当課室  
シンクタンク  
事業室

#### 県政に対する貢献度

##### 達成度

目標 300 件／年 に対して  
**454.7 % (1,364 件)**

内訳：  
県政関連委員会等への参画数 289 件、  
県職員等の相談件数 1,075 件

#### 県政課題論文著書等数

##### 達成度

目標 80 件／年 に対して  
**103.8 % (83 件)**

内訳：論文著書 42 本、その他著作 22 本、研究発表 19 件

#### 受託研究件数

##### 達成度

目標 10 件／年 に対して  
**190.0 % (19 件)**

受託研究の総額は 13,251,000 円

#### 植物の育成、種子保存等についてのノウハウ提供依頼件数

##### 達成度

目標 30 件／年 に対して  
**143.3 % (43 件)**

#### 解 説

##### ①H19 年度の取り組み

県関連部局委員会への学識経験者としての参画を促した。また、学術論文発表後にそれをかみ砕いて県民の自然環境に関する理解を深める普及啓発誌への執筆を勧めた。

関連部局や企業とともに地域の問題を解決する受託研究の受諾を促した。

##### ②H19 年度の到達状況の自己評価

県関連部局職員への相談対応件数や委員会への参画数、受託研究数、ジーンバンク対応件数（植物の育成、種子保存等についてのノウハウ提供件数）については、博物館のシンクタンク機能を十分に果たした。

県政課題論文数に関しては、目標に達してはいるが不十分である。

##### ③H20 年度の取り組みの予定

発表学術論文をもとにその社会的意義を広く県民に周知していただくため、普及啓発誌での公表を促進する。

県の財政改革の進行に伴い、博物館の基礎研究・資料収集・情報収集といった基本活動に資金面での支障が出ることのないよう、研究活動等に外部資金の導入をさらに進める。

#### ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

市町等との協力協定締結件数

目標値：1 件／年 実 績：1 件（恐竜化石の発掘や活用等に関する丹波市との協定）

達成度：100.0 %

## IV シンクタンク活動の支援

共に考え、共に行動する総合的なコミュニティシンクタンクを目指す

### 2

他館、他団体、NPO 等との交流・連携を促進し、博物館事業の活性化を図る。

#### 指標 1：他館、他団体、NPO 等との連携プログラム数

担当課室  
シンクタンク  
事業室

#### 他館、他団体、NPO 等との連携プログラム数

##### 達成度

目標 80 件／年 対して

**106.3 % (85件)**

内訳：

共催事業 19 件、  
協力事業 44 件、  
後援事業 3 件、  
キャラバン事業数 19 件

#### 解説

##### ①H19 年度の取り組み

総合共同研究と連動したキャラバンを県下 5 地域で展開することにより、今年度は地域問題の具体化、またそれを博物館と共に解決する地域研究員・連携活動グループの発掘を開始した。

講師派遣などに対して、個人として対応するのではなく、連携事業と位置づけることを勧めた。

##### ②H19 年度の到達状況の自己評価

連携事業の総数としては目標をかろうじて達成した。ただ共催事業・後援事業・NPO 等との連携事業は目標値を下回っている。特に共催事業数は目標値の半数程度で、連携相手先から見て博物館のシンクタンク機能がまだ十分に認知されていないことを示しており、営業活動が必要である。

##### ③H20 年度の取り組みの予定

総合共同研究と連動したキャラバンをさらに進化させ、地域が抱える課題を共に解決する仕組みを構築・実践する際の一つのメニューとして、地域研究員・連携活動グループとの共催事業を位置づけ推進する。

次年度の事業が具体化し始める秋季に連携相手先と事業の調整を進める。

#### ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	内容	目標値	実績	達成度 (%)
共催事業件数	博物館と他館、他団体等との共催事業	30	19	63.3
協力事業件数	博物館と他館、他団体等との協力事業	30	44	146.7
後援事業件数	他館、他団体等の事業への後援数	10	3	30.0
キャラバン事業数	キャラバン、ミニキャラバン等の実施数	10	19	190.0
県民・NPO 等との連携事業件数	上記の 4 事業中で県民・NPO 等と連携して行う事業数	30	23	76.7
地域研究員養成講座開催日数	県内 5 つの地域で主に行う地域研究員養成講座の開催日数	20	75	375.0
地域研究員養成講座参加者人日	同上への参加者総数（人日）	200	2,354	1177.0

# V マーケティングおよびマネジメント

効果的で健全な運営を行い、全ての人に利用される博物館を目指す

1

広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を拡大する。

**指標1：知名度 50%の達成度**  
**指標2：ホームページアクセス件数**  
**指標3：メディア等出演件数**

担当課室  
企画調整室

## 知名度 50%の達成度

### 達成度

目標 50% に対して

**98.2 % (49.1%)**

## ホームページ

## アクセス件数

### 達成度

目標 200,000 件／年 に対して

**94.1 % (188,247件)**

## メディア等出演件数

### 達成度

目標 300 件／年 に対して

**183.0 % (549件)**

内訳：

新聞雑誌等掲載数 500 件、

テレビ・ラジオ等出演件数 49 件

## 解 説

### ①H19 年度の取り組み

三田、西播磨、丹波地域での知名度調査を行った。これらはフェスティバルという特殊条件下だったためか、71～89%という高い値が得られた。その後、三宮での同様の調査では約 20% であった。

これらの調査の妥当性が不明のため、本年度の知名度は前年度までの調査値（49.1%）のままとした。

### ②H19 年度の到達状況の自己評価

本年度も恐竜化石に関連した新事実の発表や展示会などにより、メディアへの露出件数がかなり増加し、知名度は確実に上がっていると思われる。一方でホームページのアクセス件数が上がらなかつたのは、更新件数が少なかったためと思われる。

### ③H20 年度の取り組みの予定

恐竜化石、ファーブル展、生物多様性関連事業等により、引き続きメディアへの露出の増加が期待できる。またホームページの更新回数の増加等により、知名度のさらなる向上に努める。

知名度については、より信頼度の高い数値が得られる方法を検討していく。

## ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	マーケティングおよびマネジメント関連の項目				
	メールマガジン 購読者件数	館内情報端末 利用件数	ホームページ 更新件数	新聞雑誌等掲 載件数	テレビ・ラジオ等 出演件数
目標値	1,000	500,000	250	250	50
実績	965	434,572	436	500	49
達成度(%)	96.5	86.9	174.4	200.0	98.0

### ■ 累計目標値について ■

メールマガジン購読者件数の目標値は、平成 23 年度末までに達成することを想定した数値(累計)である。

# V マーケティングおよびマネジメント

効果的で健全な運営を行い、全ての人に利用される博物館を目指す

2

効率的で健全な博物館運営  
を目指す。

指標 1：二酸化炭素排出量の削減

指標 2：外部資金の獲得金額

指標 3：中期目標の達成度

担当課室

企画調整室

## 二酸化炭素

### 排出量の削減

#### 達成度

目標 前年度比 100%未満に対して  
**前年度比 94.0 % → 達成**

## 外部資金の獲得金額

#### 達成度

目標 20,000,000 円／年 に対して  
**170.8 % (34,159,000 円)**

内訳：

文部科学省科学研究費補助金等の研究助成金 18,708,000 円、受託研究 13,251,000 円、教育普及等事業への助成金 2,200,000 円

## 中期目標の達成度

#### 達成度

目標 評価可能な指標の 80%以上を達成に対して

**76.2 % → 未達成**

評価可能な指標 21 個の中の 16 個について目標値を達成

## 解説

#### ①H19 年度の取り組み

新しい中期目標で動き始めた。今回は昨年度までの中期目標で弱かつた資料と研究を分離した。

全体に指標数を増やしたので達成の難易度は少し高くなった。指標の数と目標値の設定は暫定的なもので動かざるを得なかった。

#### ②H19 年度の到達状況の自己評価

暫定的な目標ではあったが、全体的な指標の達成度はおおむね期待の応えられるものだったと思われる。ただし個別にみると、一般向け著書に関する指標や扱い手の活動に関する指標が低い。

自身の仕事の達成だけで満足せず、一般向け事業へとさらに一段の発展を進める必要がある。

#### ③H20 年度の取り組みの予定

中期目標のとくに指標の数と目標値の設定を見直して、暫定版から正式版へ確定させる。それをもって外部評価委員会による評価点検を実施する。

## ◆ この指標を支える項目と目標値・達成度 ◆

項目	マーケティングおよびマネジメント関連の項目					
	受託研究		教育普及等の事業への助成金		研究助成金	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
目標値	10	10,000,000	5	-	10	10,000,000
実績	19	13,251,000	3	2,200,000	16	18,708,000
達成度(%)	190.0	132.5	60.0	-	160.0	187.1

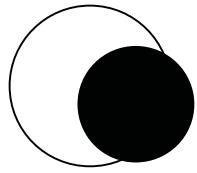
### ■ 二酸化炭素排出量について ■

二酸化炭素排出量は下記の換算式に基づいて算出し、前年度分との比較を行っている。

二酸化炭素排出量 = 0.36 × 電気使用量(kwh) + 0.36 × 水道使用量(m<sup>3</sup>) + 2.29 × ガス使用量(m<sup>3</sup>)



# 資料



# 博物館概要等に関する資料

## ○主な収蔵資料

### 1) 主な購入資料

#### [化石]

オフサルモサウルス  
ドイツ・メッスル産化石一式  
ポプロフォネウス  
アマリカマストドン全身骨格  
ヒプセロサウルス卵化石  
ユーステノプテロン  
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

#### [地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物  
石鉄隕石  
隕鉄

#### [動物]

オオヒクイドリ剥製  
鳥類剥製  
甲殻類剥製  
軟体動物含浸標本  
貝類含浸標本  
鳥類生態写真  
魚類生態写真

#### [昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエコレクション 8,500 点)  
ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)  
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)  
(台湾・中国産 1,300 点)  
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)  
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)  
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)  
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)  
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)  
(高橋コレクション 7,248 点)  
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

#### [植物]

兵庫県産木材樹幹  
外国産木材樹幹

屋久杉輪切り (年輪) 標本

種子標本 (種子コレクション)

特殊材

#### [映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本  
生物系ビデオ本  
地球大紀行再編集ビデオ本

### 2) 主な寄贈資料

#### [化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点 (堀治三郎氏)  
神戸層群産植物化石 2,656 点 (高岡得太郎氏)  
日本産中生代貝類化石 890 点 (市川浩一郎氏)  
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点 (仙頭鷹雄氏)  
備北・勝田層群産中新世生化石 187 点 (岸本眞五氏)  
岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点 (林広樹氏)  
長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点 (小関正嗣氏)

#### [地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点 (シルバー生野)

#### [動物]

貝類標本 10,000 点 (菊池典男氏)  
鳥類標本 87 点 (中田富士雄氏)  
鳥類標本 620 点 (西堀静江氏)  
鳥類標本 130 点 (柴田嘉三氏)  
鳥類標本 15,000 点 (小林登美子氏)

#### [昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点 (田中梓氏)  
チョウ類等標本 14,000 点 (柴田篤弘氏)  
チョウ類等標本 5,700 点 (山本廣一氏)  
チョウ類等標本 11,000 点 (小林登美子氏)  
カリバチ類タイプ標本 367 点 (常木三澄子氏)  
ハバチ類標本 14,000 点 (猪股光子氏)  
ゴミムシ類標本 5,700 点 (大倉孝子氏)

#### [植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点 (中西田鶴子氏)  
シダ類標本 4,000 点 (稻田政子氏)  
高等植物標本 20,000 点 (細見末雄氏)

## 【平成19年度購入・寄贈等資料】

**植物** 福岡コレクション2006306・矢内 正弘コレクション2007151・畠中 幸次郎コレクション1・牧野植物園交換標本2007120・材鑑証拠標本2007四万十103・材鑑証拠標本2007三重岐阜161 **昆蟲** コケムシ科、ガムシ科ホロタイプ標本11・島崎正美タテハチョウコレクション9・和田コレクション383・コケムシ科、ガムシ科ホロタイプ標本3・山本コレクション2・ひょうごの川自然環境調査 底生動物標本(水生昆蟲)500・**動物** 花房コレクション4・ノスリ1・カンムリワシ1・ひょうごの川自然環境調査 底生動物標本150・ひょうごの川自然環境調査 魚類標本1000・**地質・岩石・鉱物** 流紋岩1・神戸層群産珪化木等20・キイキリガイダマシ1・丹波市篠山層群産珪化木1・延原コレクション90・螢石30・竹野産北但層群産珪化木25・竹内コレクション4・神戸層群産珪化木3・北海道産白亜紀鉱物化石1・神戸層群産珪化木1・藤野コレクション6・広域調査(播磨地域) 調査報告書および採集鉱石類900 **映像資料** 大山小学校「百年の歩み」写真資料集15・大山小学校創立百周年祭記念特集スライド13・金山公園整備事業大山小学校60 **その他** 館員採集による標本多数

(数字は点数を示す)

## ○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自体が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

### 1) システム構成



#### ① 収藏品管理システム ～ひとはくデータベース～

100万点を超える収蔵品を管理するシステムで、収蔵品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収蔵品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収蔵品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末からWebブラウザを利用して行う。



#### ② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末からWebブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



#### ③ 普及広報システム

平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、仮想的に館内を自由に観覧体験できるバーチャルミュージアムも楽しむことができる。

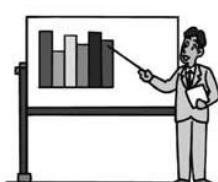
遠隔授業は、インターネット回線や電話回線を利用した会議機能を活用して、主体的な学びや自然体験の創出、専門家との交流を目的に平成12年度から実施している。



#### ④ 地理情報システム (GIS)

収蔵品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



#### ⑤ 研究支援システム

館内LANを利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や化石のクリーニング映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立てている。



#### ⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末からWebブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

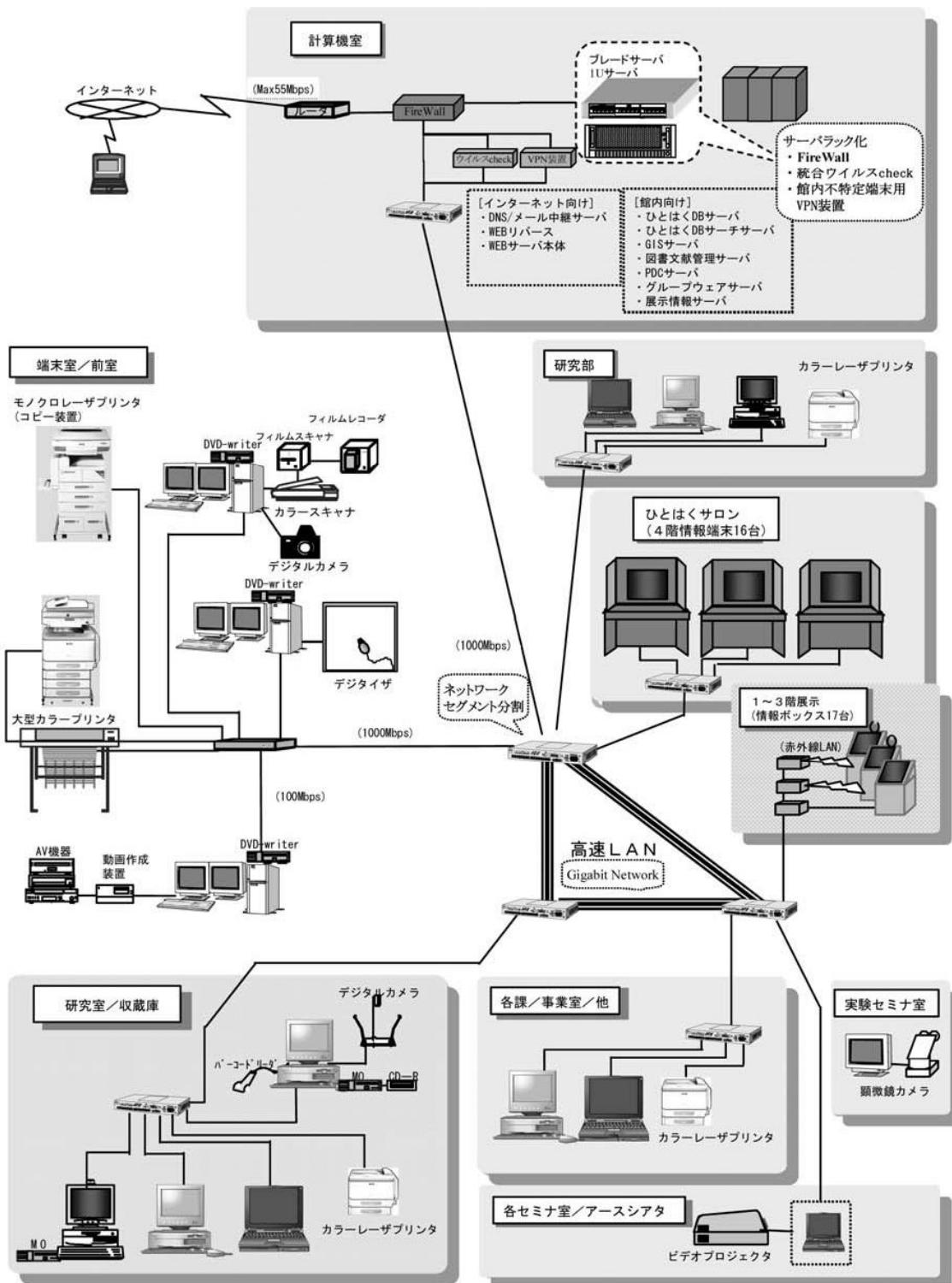
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



#### ⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

## 2) システム構成



\* サーバ11台、クライアントパソコン88台、プリンタ等13台

## ○条例等

### 兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)  
(条例第25号)

[沿革]

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正  
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正  
平成19年3月16日条例第9号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力をを行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けないで展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ぜることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員

会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。一部改正〔平成19年条例9号〕  
(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館ご、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。（補則）

第14条 この条例に定めるものほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関する必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。（委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会長	日額	12,400円
	副会長	日額	10,400円
	委員	日額	10,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。  
(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成16年3月26日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成18年9月28日条例第53号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第9号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。（後略）

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料(1人につき)		備考
	個人	団体	
大人	200円	150円	1. 「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2. 「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3. 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4. 県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	150円	100円	
小人	100円	70円	

別表第2 (第5条関係)

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備考
	個人	団体	
大人	2,000円	1,600円	1. 「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2. 「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3. 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4. 県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	1,500円	1,200円	
小人	1,000円	800円	

別表第3 (第9条関係)

区分	使用料			備考
	平日 9時から17時まで	土曜日 10時から17時まで	休日 10時から17時まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1. 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2. 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日以外の日をいう。
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

## 兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日)  
(教育委員会規則第8号)

[沿革]

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正  
平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正  
平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正  
平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正  
(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館(以下「博物館」という。)の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。  
2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。  
3 前2項の規定にかかるわざ、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。  
(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)とする。  
(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日  
2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観

覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可)

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書(様式第2号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書を申請者に交付するものとする。

(使用料の額)

第9条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

(特別観覧料及び使用料の納付)

第10条 特別観覧許可書及び兵庫県立人と自然の博物館利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。(観覧料等の免除)

第11条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料(特別展示観覧料を含む。)、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 県内に居住する65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料(特別展示観覧料を含む。)の2分の1に相当する額

(2) 教育委員会が特別の理由があると認めたとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

(観覧料等の還付)

第12条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額

(2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき(アに該当する場合を除く)。当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書(様式第3号)を教育委員会に提出しなければならない。

(寄託又は寄贈)

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならぬ。

(権限の委任)

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

(補則)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関する必要な事項

は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

別表第1（第6条関係）

区分	特別観覧料（1点1回につき）		
熟観	150円		
模写・模造	2,000円		
撮影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150円	1,000円
	原色	300円	2,000円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。  
2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。  
3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金額	4,400円	5,600円	10,000円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 2,000円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 3,000円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込む場合)	持込み器具1式につき 5,000円

- 備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号 特別観覧許可申請書 年月日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）  
氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）  
電話―――番

次のとおり申請します。

品目	点数	所	有者	備考
観覧希望日時	年	月	日	時から時まで
研究の方法	熟観	模写	模造	撮影
研究の目的				

様式第2号 兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書 年月日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）  
氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）  
電話―――番

次のとおり申請します。

利用目的				
利用室名				
附属設備の名称				
期間	年	月	日	時から時まで（日時間）
利用者数				
油便用料	円			
※備考				

（注）※印の欄は、申請書において記入しないでください。

様式第3号 兵庫県立人と自然の博物館観覧料等返付請求書 年月日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあっては、主たる事務所の所在地）  
氏名（法人又は団体にあっては、名称及び代表者の氏名）  
電話―――番

許可の年月日及び番号	年	月	日	第号
返送請求の内容	※返送金の内訳			
利用等の日時	年	月	日	時から時まで（日時間）
既納付額	円			
返還を受けようとする理由				
※返付率	パーセント			
※返付額	円			

（注）1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。  
2 頸収書等添付したことを記す書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議（平成4年3月27日）  
会の組織及び運営に関する規則（教育委員会規則第9号）

（趣旨）

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（補則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

## 兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程

(平成4年3月31日)  
(教育長訓令第2号)

### (趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則（平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。）第15条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関する必要な事項を定めるものとする。

### (権限の委任)

第2条 教育長は、規則第14条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第11条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

### 附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育長訓令第4号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

## 兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程（抜粋）

(平成4年3月31日)  
(教育長訓令第2号)

### [沿革]

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、平成19年3月30日第5号

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

#### (機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

#### (機関の定義)

#### 第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員会等をいう。

#### (行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となって教育行政機能の発揮に努めなければならない。

#### (規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

#### (組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

#### 第5章 教育機関

#### 第10節 県立人と自然の博物館

#### (位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号）第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

#### (業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

(1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、

写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。

(2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

(3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。

(4) 博物館資料の利用に関する必要な説明、助言及び指導を行うこと。

(5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

(6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。

(7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。

(8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力をを行うこと。

(9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

#### (組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

#### 事業推進部

#### 総務課

#### 情報管理課

#### 生涯学習課

#### 自然・環境評価研究部

#### 自然・環境マネジメント研究部

#### 自然・環境再生研究部

#### （事業推進部の事務）

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 博物館資料の展示及び普及教育に関する事務。

(2) 大学、他の研究機関との相互協力をに関する事務。

(3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関する事務。

(4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関する事務。

(5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関する事務。

#### （総務課の事務）

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 公印の管轄に関する事務。

(2) 文書の收受、発送、保存等に関する事務。

(3) 職員の進退及び服務に関する事務。

(4) 給料その他の諸給与に関する事務。

(5) 児童手当に関する事務。

(6) 会計経理に関する事務。

(7) 県立人と自然の博物館の管理に関する事務。

(8) 人と自然の博物館協議会に関する事務。

(9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関する事務。

(10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

#### （情報管理課の事務）

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関する事務。

(2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関する事務。

(3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関する事務。

(4) 情報機器の管理に関する事務。

(5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関する事務。

#### （生涯学習課の事務）

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催を援助すること。

(2) 県立人と自然の博物館の広報に関する事務。

(3) 他の博物館等との相互協力をに関する事務。

(4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関する事務。

(5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関する事務。

(6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関する事務。

#### （自然・環境評価研究部の事務）

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

(1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関する事務（情報管理課の所掌に属す

るものを除く。)。

- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関する事務  
(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関する事務(情報管理課の所掌に属するものを除く。)。

- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関する事務  
(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関する事務(情報管理課の所掌に属するものを除く。)。

- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関する事務

- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関する事務

#### 第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名 称	担 任 専 務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるものほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

#### 第7章 職制

##### 第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

##### 第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができます。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

(副所長等)

##### 第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるものほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職 名	組 織	職 務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

#### 第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校长、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機間に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職 名	職 務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的業務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職 名	職 務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機間に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることができる。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。)若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校长、次長・副園長又は部長(副館長、副所長、副校长、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機間にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校长、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機間にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。

電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員 又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の送受、整理等の業務に従事する。

## 兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例 (昭和46年3月25日) 条例第16号)

[沿革]

平成11年10月8日条例第43号・14年3月27日第32号改正・15年3月17日第37号改正・平成17年3月28日第15号改正・平成19年2月28日第2号改正・3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

- 2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。
- 3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。
- 4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正

〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関する必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月8日条例第43号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成15年3月17日条例第37号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第15号）

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則（平成19年2月28日条例第2号）

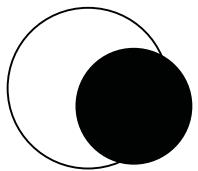
この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第25号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

## ○博物館協議会委員名簿

区分	役職	氏名
学校教育関係者	三田市立つつじが丘小学校長	井川 信也
"	神戸市立岩岡中学校長	館 章
"	県立兵庫高等学校長	坂田 正人
社会教育関係者	県立歴史博物館長	端 信行
"	兵庫県社会教育委員 (中部学院大学教授)	寺見 陽子
"	兵庫県社会教育委員専門部会専門委員 (ライフデザイン研究所FLAP代表)	岩木 啓子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山西 良平
"	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春
"	JT生命誌研究館館長	中村 桂子
"	兵庫県立大学副学長	鈴木 胖
"	三田市長	竹内 英昭
"	阪南大学教授	貴多野 乃武次
"	辻本智子デザイン研究所代表取締役 淡路夢舞台温室プロデューサー	辻本 智子
公募委員		天川 佳美
公募委員		楓 るみ子



# 博物館事業報告に関する資料

## セミナー一覧

2007年度(平成19年度)は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施した(キャラバンを除く)。

実施日	セミナー名	講師	定員	合計
4月7日(土)	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本(延)	25	20
4月15日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回第1回)	高橋・高野・布施	10	6
4月18日(水)	気ままに植物ウォッチング①～菊水山～	黒田	20	16
4月21日(土)	春の六甲山ハイキング	橋本(延)	25	10
4月21日(土)	愛蜂家養成講座・初級(全4回第1回)	大谷	10	19
4月21日(土)	ため池を探る(全4回第1回)	田中・佐藤	20	9
4月21日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 大阪市御堂筋界隈を歩く	田原	20	25
4月22日(日)	ひとはく・石ころクラブ(第1回日本列島の骨組み)	小林	15	27
4月22日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第1回)	八木	15	14
4月22日(日)	ため池を探る(全4回第2回)	田中・佐藤	20	7
4月22日(日)	水生昆虫を観察しよう 猪名川編	三橋	50	17
4月28日(土)	植物リサーチクラブ①ハチ北高原の早春植物第1回	布施・高橋	20	24
4月28日(土)	ファーブルに挑戦 竹筒トラップでハチの習性観察	橋本(明)	15	7
4月29日(日)	植物リサーチクラブ①ハチ北高原の早春植物第2回	布施・高橋 高野	20	24
5月3日(木)	ひとはく・石ころクラブ(第2回日本列島のマグマと火山)	先山	15	23
5月4日(金)	ひょうごの恐竜	三枝	50	75
5月5日(土)	化石のレプリカをつくろう!	松原	15	15
5月6日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第2回)	八木	15	16
5月11日(金)	人と自然の共生を考える 三田のホタルを調べる(全2回第1回)	八木	50	43
5月11日(金)	靈長類が描く人の姿 我々は何処に行くのか	三谷	50	104
5月12日(土)	チョウの幼虫を飼つてみよう(全3回第1回)	中西・八木	20	14
5月12日(土)	ため池を探る(全4回第3回)	佐藤・田中	20	11
5月12日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 大阪市平野界隈を歩く	田原	20	18
5月13日(日)	三田盆地西部水分かれウォーク	小林	20	15
5月13日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第3回)	八木	15	14
5月13日(日)	ため池を探る(全4回第4回)	田中・佐藤	20	7
5月16日(水)	気ままに植物ウォッチング②～六甲山紅葉谷～	黒田	20	26
5月16日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)三田のホタルを調べる(全3回第1回)	八木	25	15
5月17日(木)	芦屋川の水生生物と環境変化	三橋	10	65
5月20日(日)	春の石めぐりハイキング「猪名川:多田銀山の鉱物採集」	先山・加藤	30	39
5月26日(土)	六甲山「森の植物」観察会(春)	小館	20	19
5月26日(土)	愛蜂家養成講座・初級(全4回第2回)	大谷	10	21
5月26日(土)	家族で蜂蜜しづり(1)	大谷	30	24
5月26日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 大阪市野田・福島界隈を歩く	田原	20	11
5月27日(日)	身近な植物の不思議な生態	石田	50	15
5月27日(日)	花粉の観察1 樹木編	半田	16	5
5月27日(日)	植物リサーチクラブ②植物用語の基礎知識 果実のみかた-	布施・高橋・高野	30	21
5月30日(水)	武田尾のシダを見る	鈴木	20	0
5月31日(木)	兵庫の大地の成り立ち	小林	10	147
6月2日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回第1回)	大谷	20	13
6月2日(土)	川を探る(全3回第1回)	三橋	15	5
6月3日(日)	日本一の兵庫の自然	服部	30	38
6月3日(日)	川を探る(全3回第2回)	三橋	15	5
6月6日(水)	武田尾のシダを見る 追加版	鈴木	20	20
6月9日(土)	チョウの幼虫を飼つてみよう(全3回第2回)	中西・八木	20	11
6月9日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県宝塚市清荒神・小浜・中山寺界隈を歩く	田原	20	17
6月10日(日)	ひとはく・石ころクラブ(第3回日本列島を覆った火山灰)	加藤	15	24
6月10日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第4回)	八木	15	15
6月13日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)～里山を調べる	小館	25	26
6月15日(金)	人と自然の共生を考える 絶滅危惧植物の保護・保全(全2回第1回)	鈴木	50	50
6月16日(土)	竹がひろがる! ?竹が枯れる! ?	橋本(延)	50	45
6月17日(日)	もいちど始める昆虫採集(第7期)	沢田(久)	5	5
6月23日(土)	草本群落の調べ方	小館	15	7
6月23日(土)	愛蜂家養成講座・初級(全4回第3回)	大谷	10	21
6月23日(土)	家族で蜂蜜しづり(2)	大谷	30	27
6月23日(土)	チョウの宝石、ミドリシジミの観察	中西・八木	40	20
6月24日(日)	植物リサーチクラブ③植物用語の基礎知識 花序と葉序	高橋・高野・布施	30	26
6月24日(日)	川を探る(全3回第3回)	三橋	15	5
6月30日(土)	とつこ俱楽部 梅雨のキノコ1	秋山	15	15

6月30日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回第2回)	大谷	20	13
6月30日(土)	君もファーブル アリの飼育に挑戦	橋本(明)	15	38
7月1日(日)	花粉の観察2 化石編	半田	16	2
7月1日(日)	とっこ俱楽部 梅雨のキノコ2	秋山	15	10
7月7日(土)	ユース昆虫研究室(全13回第5回)	八木	15	14
7月8日(日)	小さな虫の標本作り	沢田(久)	20	17
7月8日(日)	外で遊ぼう！！	嶽山	100	36
7月11日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)三田のホタルを調べる(全3回第2回)	八木	25	14
7月13日(金)	人と自然の共生を考える 三田のホタルを調べる(全2回第2回)	八木	50	38
7月14日(土)	ゾウが縮む時	三枝	25	3
7月14日(土)	チョウの幼虫を飼ってみよう(全3回第3回)	中西・八木	20	12
7月15日(日)	石の観察と見分け方「鉱物入門」	先山	20	35
7月15日(日)	パパのための昆虫採集講座	八木	20	14
7月15日(日)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第1回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	37
7月22日(日)	植物の標本をつくろう(全2回第1回)	長谷川	20	30
7月24日(火)	魔法の博物館ーゲームの館ー(全2回第1回)	嶽山	15	6
7月26日(木)	魔法の博物館ーゲームの館ー(全2回第2回)	嶽山	15	6
7月27日(金)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第2回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	19
7月28日(土)	里山で遊ぼう その1～草抜きと生き物観察	藤本・赤澤	50	6
7月28日(土)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第2回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	19
7月29日(日)	ひとはく・石ころクラブ(第4回)	先山・加藤・小林	15	22
7月29日(日)	石の観察と見分け方「岩石入門」	先山	20	35
7月29日(日)	植物の標本をつくろう(全2回第2回)	長谷川	20	30
7月29日(日)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第2回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	19
8月1日(水)	家族でつくる昆虫標本(全2回第1回)	大谷	30	20
8月4日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回第1回)	大谷	20	2
8月4日(土)	太陽の力！体験セミナー	客野	50	13
8月4日(土)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第3回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	17
8月5日(日)	48時間耐久虫とりキャンプ(2泊3日第1回)	八木	10	18
8月6日(月)	48時間耐久虫とりキャンプ(2泊3日第2回)	八木	10	18
8月6日(月)	園児自然観察指導者講習(全3回第1回)	布施・高橋 高野	40	12
8月7日(火)	48時間耐久虫とりキャンプ(2泊3日第3回)	八木	10	18
8月7日(火)	園児自然観察指導者講習(全3回第2回)	外部講師	40	11
8月7日(火)	園児自然観察指導者講習(全3回第3回)	外部講師	40	9
8月8日(水)	家族でつくる昆虫標本(全2回第2回)	大谷	30	19
8月8日(水)	魔法の博物館ーアニメの館ー(全2回第1回)	嶽山	15	14
8月9日(木)	魔法の博物館ーアニメの館ー(全2回第2回)	嶽山	15	15
8月12日(日)	土の中のむし	沢田(久)	20	10
8月16日(木)	体の不自由な子どもたちとの野外活動入門第1回	三谷	30	20
8月16日(木)	体の不自由な子どもたちとの野外活動入門第2回	菊池・三谷	30	20
8月16日(木)	昆虫標本作り(全2回第1回)	大谷	30	21
8月16日(木)	地層の見方・調べ方in淡路	古谷	20	22
8月16日(木)	水生昆虫の調べ方(野外編)	三橋	20	25
8月17日(金)	デジタル植物図鑑に挑戦	長谷川	20	15
8月17日(金)	兵庫の3河川にズームイン	小林	40	27
8月17日(金)	花粉の観察 ハチミツ編	半田	20	25
8月17日(金)	公園の模型をつくろう！	嶽山	15	25
8月17日(金)	生物多様性について考える	岩槻	50	29
8月18日(土)	アンモナイトの生態復元模型作製講座(全2回第1回)	松原	5	5
8月18日(土)	竹野エコツアーアー第1回	嶽山・先山	30	38
8月18日(土)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第4回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	19
8月19日(日)	竹野エコツアーアー第2回	嶽山・先山	30	38
8月20日(月)	愛蜂家養成講座・初級(全4回第4回)	大谷	10	13
8月20日(月)	ハチに関する大誤解	大谷	40	36
8月20日(月)	植物の生育環境を知る	小館	30	18
8月20日(月)	子供と親しむ身近な植物	高野・布施	40	56
8月20日(月)	数字で考える地球環境問題-温暖化を中心に	客野	40	46
8月21日(火)	自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう！」	嶽山	15	21
8月21日(火)	都市のヒートアイランド現象の現在-人工衛星データからみる都市環境	客野	30	11
8月21日(火)	なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか	石田	50	15
8月21日(火)	車軸藻(シャジクモ)類の観察	佐藤	20	10
8月21日(火)	太陽の力を測ろう	客野	40	15
8月21日(火)	理論と実践「みやまあかねリサーチプロジェクト」	八木、三枝瑞生(宝塚市立西山小学校教諭)、藤井優恵(宝塚市立教育総合センター指導主事)	20	8
8月22日(水)	ユース昆虫研究室(全13回第6回)	八木	15	13
8月22日(水)	ひとはくパークマネジメントゼミ「公園運営の現場から」(全5回第1回)	赤澤・中瀬 嶽山・藤本	20	9
8月22日(水)	昆虫標本作り(全2回第2回)	大谷	30	21
8月22日(水)	野生植物の多様性と保全について考える	黒田	20	9

8月22日(水)	生態系ってなに?	江崎	40	24
8月22日(水)	里山の保全と管理	服部	40	22
8月22日(水)	ため池とビオトープ	田中	30	17
8月23日(木)	ユース昆虫研究室(全13回第6回)	八木	15	13
8月23日(木)	地層の見方・調べ方in丹波	古谷	20	27
8月23日(木)	野生動物とのつきあい方	坂田・横山	30	13
8月24日(金)	宝塚・川西で探す街の中の化石	古谷	20	21
8月24日(金)	ユース昆虫研究室(全13回第6回)	八木	15	13
8月24日(金)	造園・景観学講座(全10回第1回)	中瀬	20	18
8月25日(土)	アンモナイトの生態復元模型作製講座(全2回第2回)	松原	5	4
8月25日(土)	ユース昆虫研究室(全13回第6回)	八木	15	13
8月25日(土)	初級鳴く虫インストラクター養成講座(全3回第3回)	大谷	20	12
8月25日(土)	チョウの翅で作るラミネート標本	菊池	15	18
8月25日(土)	ガキクラキャンプ 2007	嶽山	20	28
8月26日(日)	ひとはく博士と行く ハチ北高原サマースクール(全5回第5回)	加藤・小館・八木 足立・田中(慎)	24	50
8月31日(金)	造園・景観学講座(全10回第2回)	中瀬	20	16
9月7日(金)	造園・景観学講座(全10回第3回)	中瀬	20	16
9月8日(土)	国見の森のシダを見る	鈴木	20	11
9月8日(土)	鎮守の森と保全生態学	石田	50	8
9月8日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回第2回)	大谷	20	1
9月9日(日)	瀬戸内海の自然史入門	佐藤	50	14
9月9日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回第2回)	高橋・高野・布施	10	5
9月9日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第7回)	八木	15	13
9月9日(日)	ひとはくパークマネジメントゼミ「公園運営の現場から」(全5回第2回)	嶽山	20	9
9月9日(日)	ひとはくパークマネジメントゼミ「公園運営の現場から」(全5回第3回)	藤本	20	9
9月13日(木)	景色の温度を測る(全2回第1回)	長谷川	10	141
9月14日(金)	人と自然の共生を考える 絶滅危惧植物の保護・保全(全2回第2回)	鈴木	50	52
9月14日(金)	造園・景観学講座(全10回第4回)	中瀬	20	13
9月14日(金)	景色の温度を測る(全2回第2回)	長谷川	10	0
9月15日(土)	愛峰家養成講座・上級(全4回第1回)	大谷	10	18
9月19日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)三田のホタルを調べる(全3回)	八木・田中	30	13
9月19日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)~ビオトープ池を調べる~(全3回)	八木・田中	25	11
9月20日(木)	地球温暖化ヒートアイランドの現状	客野	10	141
9月21日(金)	造園・景観学講座(全10回第5回)	中瀬	20	17
9月23日(日)	ゴリラが生きる世界 命のつながりと森(全2回第1回)	三谷	10	8
9月23日(日)	ひとはくパークマネジメントゼミ「公園運営の現場から」(全5回第4回)	赤澤	20	8
9月24日(月)	ひとはく・石ころクラブ(第5回)	先山・加藤・小林	15	18
9月24日(月)	石の観察と見分け方「瀬戸内海を通った石たち」	先山	20	30
9月24日(月)	虫の体を調べよう	沢田(久)	10	9
9月24日(月)	ゴリラが生きる世界 命のつながりと森(全2回第2回)	三谷	10	10
9月28日(金)	造園・景観学講座(全10回第6回)	中瀬	20	14
9月29日(土)	森林植生の調べ方(全2回第1回)	小館	15	6
9月29日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回第3回)	大谷	20	1
9月29日(土)	川のしきみ	三橋	100	6
9月30日(日)	森林植生の調べ方(全2回第2回)	小館	15	3
10月3日(水)	須磨のシダを見る	鈴木	20	13
10月3日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)~ビオトープ池を調べる~(全3回第2回)	田中・佐藤	25	13
10月3日(水)	高校生のための昆虫知識・生態学	大谷	10	140
10月5日(金)	造園・景観学講座(全10回第7回)	中瀬	20	13
10月6日(土)	とっこ俱楽部 秋のキノコ1	秋山	15	8
10月6日(土)	上級鳴く虫インストラクター養成講座(全4回第4回)	大谷	20	2
10月6日(土)	親と子の鳴く虫のタベ	大谷	30	29
10月6日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県有馬温泉界隈を歩く	田原	20	23
10月7日(日)	とっこ俱楽部 秋のキノコ2	秋山	15	11
10月12日(金)	人と自然の共生を考える 里山の自然(全2回第1回)	小館	50	40
10月12日(金)	造園・景観学講座(全10回第8回)	中瀬	20	16
10月13日(土)	チャートを探る(全4回第1回)	古谷	15	11
10月13日(土)	愛峰家養成講座・上級(全4回第2回)	大谷	10	19
10月14日(日)	上ヶ原-仁川地域地学ハイキング	小林	20	11
10月14日(日)	里山林・講義と観察(深田公園またはジーンファーム見学)	服部	30	35
10月14日(日)	植物リサーチクラブ④植物用語の基礎知識 花のみみかた	高橋・高野・布施	30	18
10月14日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第8回)	八木	15	7
10月17日(水)	気ままに植物ウォッチング③~一庫公園~	黒田	20	23
10月17日(水)	自然環境調査入門(身近な環境を調査しよう)~ビオトープ池を調べる~(全3回第3回)	田中・佐藤	25	13
10月18日(木)	六甲山の生き物	鈴木	10	29
10月19日(金)	造園・景観学講座(全10回第9回)	中瀬	20	15
10月20日(土)	化石や動物の歯のレプリカを作ろう	三枝	25	7
10月20日(土)	植物画を描こう ①第1回	高橋・長谷川	30	11
10月20日(土)	都市の歩き方・名所探訪編 大阪府箕面界隈を歩く	田原	20	17
10月21日(日)	秋の石めぐりハイキング「丹波市山南町:岩屋鉱石のろう石と噴気孔」	先山・加藤	30	29
10月21日(日)	植物画を描こう ②第2回	高橋・長谷川	30	15
10月24日(水)	ひとはくパークマネジメントゼミ「公園運営の現場から」(全5回第5回)	赤澤・嶽山	20	9
10月26日(金)	造園・景観学講座(全10回第10回)	中瀬	20	18
10月27日(土)	秋の六甲山ハイキング	橋本(延)	25	16

10月28日(日)	野草を生かそう…草木染め	長谷川	15	0
11月7日(水)	有馬のシダを見る	鈴木	20	19
11月10日(土)	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小館	20	12
11月10日(土)	都市の歩き方 名所団会に描かれた名所を探す実践講座	田原	10	6
11月11日(日)	里山で遊ぼう その2～ハイキングと収穫祭	赤澤・藤本	50	23
11月14日(水)	遺伝子を学ぶ(DNA抽出実験)	布施	10	123
11月16日(金)	人と自然の共生を考える 里山の自然(全2回第2回)	小館	50	38
11月17日(土)	チャートを探る(全4回第2回)	古谷	15	8
11月17日(土)	ユース昆虫研究室(全13回第9回)	八木	15	12
11月17日(土)	愛蜂家養成講座・上級(全4回第3回)	大谷	10	16
11月18日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回第3回)	高橋・高野・布施	10	5
11月18日(日)	封入標本の作製	三橋	30	22
11月18日(日)	立体写真撮影入門	沢田(久)	10	5
11月21日(水)	気ままに植物ウォッチング④～箕面公園～	黒田	20	19
11月25日(日)	青赤立体写真実習	沢田(久)	10	4
11月28日(水)	植物のソバの話とソバ打ち体験	福岡・高野	30	0
12月1日(土)	ファーブル昆虫記を読み解く	橋本(明)	30	6
12月2日(日)	ひとはく・石ころクラブ(第6回)	先山・加藤・小林	15	15
12月2日(日)	史資料で振り返る幕末～昭和初期の内陸大地震	加藤	30	10
12月7日(金)	人と自然の共生を考える 熱帯雨林に生きる生物たち	橋本(明)	50	38
12月8日(土)	チャートを探る(全4回第3回)	古谷	15	9
12月8日(土)	つる植物を生かそう…リース作り	長谷川	15	9
12月9日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第10回)	八木	15	10
12月15日(土)	いっしょに学ぼう、ユニバーサルなこと(全2回第1回)	三谷	10	3
12月16日(日)	植物リサーチクラブ専修科講座(全4回第4回)	高橋・高野・布施	10	15
12月16日(日)	いっしょに学ぼう、ユニバーサルなこと(全2回第2回)	三谷	10	2
1月12日(土)	チャートを探る(全4回第4回)	古谷	15	11
1月12日(土)	生態系ってなに?	江崎	30	25
1月13日(日)	植物リサーチクラブ⑤標本の調べ方(全2回第1回)	布施・高橋	20	8
1月13日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第11回)	高野	15	13
1月14日(月)	ひとはく・石ころクラブ(第7回)	先山・加藤・小林	15	19
1月17日(木)	地球環境はどのようにしてつくられたのか	先山	50	93
1月17日(木)	世界の環境変化と生態系	橋本(明)	50	110
1月19日(土)	愛蜂家養成講座・上級(全4回第4回)	大谷	10	18
1月19日(土)	鳥を科学する	江崎	30	20
1月20日(日)	植物リサーチクラブ⑤標本の調べ方(全2回第2回)	布施・高橋・高野	20	6
1月27日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第12回)	八木	15	9
2月9日(土)	ひとはく・石ころクラブ(第8回展示をしよう)	先山・加藤・小林	15	11
2月9日(土)	変わる電長類学-われわれは何者か?(全2回第1回)	三谷	10	7
2月10日(日)	ユース昆虫研究室(全13回第13回)	八木	15	14
2月10日(日)	変わる電長類学-われわれは何者か?(全2回第2回)	三谷	10	7
2月16日(土)	日本の森林群落	石田	50	16
2月23日(土)	南あわじ沼島のシダを見る	鈴木	20	16
2月23日(土)	自然の不思議な造形-「うず」を見る	客野	30	9
2月24日(日)	南あわじ沼島のシダを見る 追加版	鈴木	20	22
3月1日(土)	ホタル幼虫の上陸観察(2年目)	大谷	20	17
3月1日(土)	考えてみよう、外来緑化樹木の利用と問題点	橋本(延)	40	8
3月16日(日)	里山で遊ぼう その3～冬の椎茸づくり	赤澤・藤本	50	13

## 企画展等一覧（平成19年度）

下記のような企画展、ミニ企画展ならびに関連講座を企画展示室・ミニ企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとはくサロンで開催した。

### 【企画展】

期 間	テー マ	入場者数	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2007.2.17-6.10	共生の風景～古写真にみる暮らしと自然～	42131人 (4月1日から)	*赤澤宏樹・藤本真里・中瀬 烈・田原直樹・宮崎ひろ志・客野尚志・嶽山洋志・田中哲夫・三橋弘宗(以上ひとはく)
2007.7.7-9.24	瀬戸内海のいまとむかし	44888人	*佐藤裕司・松原尚志・先山 徹・古谷裕・三枝春生・田中哲夫(以上ひとはく)
2007.10.20-2008.1.28	ひょうごの里山、日本の里山	55840人	*橋本佳延・服部 保・小館誓治・鈴木 武・藤井俊夫・石田弘明・黒田有寿茂(以上ひとはく)
2008.2.23-8.20	クリプトガミック・ボタニー	13830人 (3月3日まで)	*秋山弘之・鈴木武・佐藤裕司・布施静香・三橋弘宗・福田知子・岩槻邦男(以上ひとはく)

### 【ミニ企画展（臨時に企画される小規模な展示）】

期 間	テー マ	担当者(所属)	展示場所
2007.4.10-5.27	チョウが消えてゆく～絶滅の危機にあるチョウとその保全～	中西明徳(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.5.3-6.3	丹波の恐竜化石発掘速報展	古谷 裕(ひとはく)	3F 小企画展示室
2007.6.1-6.30	臨時展示カミガモソウ展示	黒田有寿茂(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.6.30-7.18	臨時展示「マダケの花が咲きました！～数十年に一度咲く不思議な竹花～」	橋本佳延(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.7.14-8.19	チョウの幼虫を飼ってみました展	中西明徳・八木 剛(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.9.19-9.23	兵庫の絶滅危惧植物 秋～ミズアオイ～	黒田有寿茂(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.9.26-10.3	中学生理科作品展	谷川直也(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2007.10.6-12.27	三田炭獣～三田市で見つかった哺乳類化石の新種～	松原尚志・三枝春生・池田忠広(ひとはく)	3F ギャラリーコーナー
2008.1.3-1.14	新春特別企画「今年の干支『ネズミ』大集合」	遠藤菜緒子・鈴木 武(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2008.2.1-2.28	「象量箱」展	沢田佳久(ひとはく)	4Fひとはくサロン
2008.2.17-6.10	遠藤先生と行った『冬の鳥観察会』	遠藤菜緒子(ひとはく)・ゆりのきフィールドウォーカー	3F ギャラリーコーナー

### 【資料・トピックス展示（新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示）】

期 間	テー マ	担当者(所属)	展示場所
2007.4.28-5.31	タンポポ調査・近畿 2005 の結果	鈴木 武(ひとはく)	3階トピックスコーナー
2007.6.1-8.31	ハチの巣 2点！	大谷 剛(ひとはく)	3階トピックスコーナー
2007.9.1-10.31	新家勝コレクション	沢田佳久(ひとはく)	3階トピックスコーナー
2007.11.1-12.27	神戸・阪神間の絵はがきコレクション	赤澤宏樹(ひとはく)	3階トピックスコーナー
2007.1.3-4.13	但馬にいたゾウ	三枝春生・古谷 裕・佐藤 裕司・松原尚志(ひとはく)	3階トピックスコーナー

## 企画展関連講座

### 【企画展「共生の風景～古写真にみる暮らしと自然～】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2007.4.15	ギャラリートーク	22	赤澤宏樹（ひとはく）
2007.5.20	ギャラリートーク	36	客野尚志・田原直樹・嶽山洋志（ひとはく）

### 【企画展「瀬戸内海のいまとむかし】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2007.7.21	環境考古学から見る瀬戸内海の いまとむかし	55	富岡直人（岡山理科大学総合情報学部） 担当：佐藤裕司（ひとはく）
2007.7.8	ギャラリートーク	21	佐藤裕司（ひとはく）
2007.7.15	ギャラリートーク	24	加藤茂弘（ひとはく）
2007.7.16	ギャラリートーク	41	佐藤裕司（ひとはく）
2007.8.19	ギャラリートーク	22	佐藤裕司（ひとはく）
2007.9.16	ギャラリートーク	30	先山徹（ひとはく）

### 【企画展「ひょうごの里山、日本の里山】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2007.12.8	バスでめぐる兵庫の里山	81	橋本佳延・石田弘明・服部保・黒田有寿茂・小館誓治・鈴木武・藤井俊夫（ひとはく）
2007.10.21	ギャラリートーク	2	橋本佳延（ひとはく）
2007.11.18	ギャラリートーク	10	石田弘明（ひとはく）
2007.12.16	ギャラリートーク	14	小館誓治（ひとはく）
2008.1.20	ギャラリートーク	16	黒田有寿茂（ひとはく）

### 【企画展「クリプトガミック・ボタニー】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2008.3.16	ギャラリートーク	10	秋山弘之（ひとはく）

## 生徒・学生等の受け入れ状況

### 【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人 数	担 当 研 究 部	課 室 名
2007.5.29～6.1 (Ⅰ期)	三田市立長坂中学校	2	自然・環境再生研究部	
	三田市立八景中学校	3	自然・環境マネジメント研究部	
	三田市立富士中学校	3	自然・環境評価研究部	
	三田市立ゆりのき台中学校	4	総務課	
2007.6.5～6.8 (Ⅱ期)	三田市立上野台中学校	2	自然・環境マネジメント研究部	
	三田市立狭間中学校	3	自然・環境評価研究部	
	三田市立けやき台中学校	3	情報管理課	
	三田市立藍中学校	4	生涯学習課	
	宝塚市立西谷中学校	1		
	篠山市立篠山中学校	1		
	丹波市立山南中学校	2		
2007.11.6～11.9 (Ⅲ期)	神戸市立神戸北中学校	2	生涯学習課	
	神戸市立有野北中学校	1		

### 【博物館実習】

期 間	学 校 名	人 数	担当研究部名
2007.8.20～8.24	神戸大学	1	
	琉球大学	1	
	京都府立大学	1	自然・環境評価研究部
	吉備国際大学	1	自然・環境マネジメント研究部
	神戸芸術工科大学	1	自然・環境再生研究部
	関西学院大学	1	
	近畿大学	1	

# 学校教育支援プログラム

【スクールパートナー推進事業 夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	参加人数
2007.8.16	・体の不自由な子どもたちとの野外活動入門	24
	・昆虫標本作り(全2回)	20
	・地層の見方・調べ方 in 淡路	24
	・水生昆虫の調べ方(野外編)	28
2007.8.17	・デジタル植物図鑑に挑戦	21
	・兵庫の3河川にズームイン	26
	・花粉の観察 ハチミツ編	26
	・公園の模型をつくろう!	30
2007.8.20	・生物多様性について考える	30
	・ハチに関する大誤解	39
	・植物の生育環境を知る	16
	・子供と親しむ身近な植物	58
2007.8.21	・数字で考える地球環境問題－温暖化を中心に	49
	・自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう!」	21
	・都市のヒートアイランド現象の現在－人工衛星データからみる都市環境	10
	・なぜ多くの植物が絶滅に瀕しているのか	17
2007.8.22	・車軸藻(シャジクモ)類の観察	10
	・太陽の力を測ろう	16
	・理論と実践「みやまあかねリサーチプロジェクト」	12
	・野生植物の多様性と保全について考える	11
2007.8.23	・生態系ってなに?	23
	・里山の保全と管理	25
	・ため池とビオトープ	15
	・地層の見方・調べ方 in 丹波	33
	・野生動物とのつきあい方	20

# 平成18~19年度2年間学校団体連続入館状況

(カッコ内、5年間の来館状況)

学校名	地域	15 16 17 18 19
<b>&lt;県内&gt;</b>		
<b>&lt;幼稚園・保育園&gt;</b>		
神陵台幼稚園	神戸市	( - - ○ ○ ○ )
西舞子幼稚園	神戸市	( - - ○ ○ ○ )
神戸海星女子学院マリア幼稚園	西宮市	( - ○ ○ ○ ○ )
みこころ幼稚園	尼崎市	( - - - ○ ○ )
武庫愛の園幼稚園	尼崎市	( - - - ○ ○ )
若草保育園	三田市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
北摂第一幼稚園	三田市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
北摂中央幼稚園	三田市	( ○ - - ○ ○ )
弥生幼稚園	三田市	( - ○ - ○ ○ )
わかばのもり保育園	宝塚市	( - - - ○ ○ )
<b>&lt;小学校&gt;</b>		
神戸市立井吹東小学校	神戸市	( ○ ○ - ○ ○ )
神戸市立高津橋小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立神出小学校	神戸市	( ○ - ○ ○ ○ )
神戸市立西脇小学校	神戸市	( - - ○ ○ ○ )
神戸市立藤原台小学校	神戸市	( ○ ○ - ○ ○ )
神戸市立南落合小学校	神戸市	( - - - ○ ○ )
神戸市立有瀬小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立神陵台小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立大池小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立筑紫が丘小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立道場小学校	神戸市	( ○ - ○ ○ ○ )
神戸市立有野小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
神戸市立有野台小学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
芦屋市立潮見小学校	芦屋市	( - - - ○ ○ )
西宮市立鳳川小学校	西宮市	( - - - ○ ○ )
西宮市立西宮浜小学校	西宮市	( - - - ○ ○ )
西宮市立段上西小学校	西宮市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
西宮市立山口小学校	西宮市	( - ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	( - ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立荻野小学校	伊丹市	( ○ - ○ ○ ○ )
伊丹市立花里小学校	伊丹市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立神津小学校	伊丹市	( - ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	( - - ○ ○ ○ )
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	( - - ○ ○ ○ )
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	( ○ - ○ ○ ○ )
三田市立あかし台小学校	三田市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
三田市立すずかけ台小学校	三田市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
三田市立狭間小学校	三田市	( ○ - ○ ○ ○ )
三田市立広野小学校	三田市	( - ○ ○ ○ ○ )
三田市立三輪小学校	三田市	( ○ ○ - ○ ○ )
三田市立武庫小学校	三田市	( ○ - ○ ○ ○ )
三田市立母子小学校	三田市	( - - ○ ○ ○ )
川西市立加茂小学校	川西市	( - ○ ○ ○ ○ )
川西市立川西小学校	川西市	( - - ○ ○ ○ )
川西市立北陵小学校	川西市	( ○ ○ - ○ ○ )
川西市立陽明小学校	川西市	( ○ - ○ ○ ○ )
宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市	( - ○ - ○ ○ )
宝塚市立安倉北小学校	宝塚市	( - ○ - ○ ○ )
雲雀丘学園小学校	宝塚市	( - - ○ ○ ○ )
小林聖心女子学院小学校	宝塚市	( - - ○ ○ ○ )
宝塚市立西山小学校	宝塚市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
三木市立自由が丘小学校	三木市	( - ○ - ○ ○ )
播磨町立蓮池小学校	播磨町	( - - ○ ○ ○ )
加古川市立川西小学校	加古川市	( - - - ○ ○ )
加古川市立別府西小学校	加古川市	( - - - ○ ○ )
高砂市立伊保小学校	高砂市	( ○ - ○ ○ ○ )
明石市立貴崎小学校	明石市	( - ○ - ○ ○ )
明石市立錦浦小学校	明石市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
明石市立谷八木小学校	明石市	( - ○ - ○ ○ )
加西市立賀茂小学校	加西市	( - - - ○ ○ )
加西市立日吉小学校	加西市	( - - - ○ ○ )
加西市立北条小学校	加西市	( - ○ ○ ○ ○ )
加東市立滝野南小学校	加東市	( - ○ ○ ○ ○ )
加東市立東条東小学校	加東市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
兵庫教育大学附属小学校	姫路市	( - - - ○ ○ )
姫路市立香呂小学校	姫路市	( - ○ ○ ○ ○ )
姫路市立峰相小学校	姫路市	( - ○ ○ ○ ○ )
<b>&lt;中学校&gt;</b>		
神戸市立桜の宮中学校	神戸市	( - - - ○ ○ )
神戸市立神陵台中学校	神戸市	( - - - ○ ○ )
神戸市立櫛谷中学校	神戸市	( - - - ○ ○ )
神戸市立高倉中学校	神戸市	( ○ ○ - ○ ○ )
猪名川町立中谷中学校	猪名川町	( - - - ○ ○ )
加西市立北条中学校	加西市	( - - - ○ ○ )
小野市立河合中学校	小野市	( - - - ○ ○ )
西脇市立西脇南中学校	西脇市	( - - - ○ ○ )
西脇市立西脇東中学校	西脇市	( - - - ○ ○ )
姫路市立菅野中学校	姫路市	( - - - ○ ○ )
佐用町立上月中学校	佐用町	( - - - ○ ○ )
佐用町立上津中学校	佐用町	( - - - ○ ○ )
佐用町立三日月中学校	佐用町	( - - - ○ ○ )
丹波市立市島中学校	丹波市	( - - - ○ ○ )
新温泉町立浜坂中学校	新温泉町	( - - - ○ ○ )
朝来市立生野中学校	朝来市	( - - - ○ ○ )
豊岡市立日高西中学校	豊岡市	( - - - ○ ○ )
<b>&lt;高等学校&gt;</b>		
兵庫県立舞子高等学校	神戸市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
クラーク記念国際高等学校	芦屋市	( - - - ○ ○ )
兵庫県立西宮北高等学校	西宮市	( - - - ○ ○ )
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市	( - ○ ○ ○ ○ )
兵庫県立馬高等学校	三田市	( ○ - ○ ○ ○ )
兵庫県立三田祥雲館高等学校	三田市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
兵庫県立西脇工業高等学校	西脇市	( - - - ○ ○ )
兵庫県立福崎高等学校	福崎町	( ○ ○ ○ ○ ○ )
兵庫県立姫路飾磨西高等学校	姫路市	( - - - ○ ○ )
兵庫県立佐用高等学校	佐用町	( - - - ○ ○ )
兵庫県立大学附属高等学校	上郡町	( - ○ ○ ○ ○ )
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市	( ○ - ○ ○ ○ )
兵庫県立柏原高等学校	丹波市	( ○ ○ ○ ○ ○ )
<b>&lt;大学・専門学校ほか&gt;</b>		
神戸朝鮮初中級学校	神戸市	( - ○ ○ ○ ○ )
神戸大学農学部	神戸市	( ○ - - ○ ○ )
兵庫県立大学環境人間学部	姫路市	( - - - ○ ○ )
淡路景観園芸学校	淡路市	( ○ - - ○ ○ )
<b>&lt;県外&gt;</b>		
<b>&lt;小学校&gt;</b>		
追手門学院小学校	大阪府	( ○ - ○ ○ ○ )
茨木市立天王小学校	大阪府	( ○ ○ ○ ○ ○ )
茨木市立玉島小学校	大阪府	( - - - ○ ○ )
吹田市立桃山台小学校	大阪府	( - - - ○ ○ )
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府	( ○ ○ ○ ○ ○ )
茨木市立大池小学校	大阪府	( - - - ○ ○ )
池田市立貝服小学校	大阪府	( ○ ○ ○ ○ ○ )
吹田市立東佐井寺小学校	大阪府	( - ○ ○ ○ ○ )
吹田市立東山田小学校	大阪府	( - - - ○ ○ )
<b>&lt;中学校&gt;</b>		
河内長野市立東中学校	大阪府	( - - - ○ ○ )
開明中学校	大阪府	( ○ - ○ ○ ○ )
閑西大倉中学校	大阪府	( ○ ○ ○ ○ ○ )
<b>&lt;高等学校&gt;</b>		
大阪府立泉北高等学校	大阪府	( - ○ ○ ○ ○ )
大阪府立北野高等学校	大阪府	( - ○ ○ ○ ○ )
和歌山県立海南高等学校	和歌山県	( ○ ○ ○ ○ ○ )
和歌山県立向陽高等学校	和歌山県	( - - - ○ ○ )
<b>&lt;大学・専門学校ほか&gt;</b>		
大阪大学理学部化学科	大阪府	( - - - ○ ○ )

合 計 ( 125校 )

## 来館一般団体一覧

団体名	地域	
【県内】		
たつの市いづみ会新宮支部	たつの市	高砂市
たつの市立龍野小学校4年生	たつの市	高砂市
花と緑の協会揖保川支部	たつの市	佐用郡
元町子ども会	たつの市	佐用町
原子ども会	たつの市	佐用町
四箇子ども会	たつの市	佐用町
室乃津会	たつの市	佐用町
上富永子ども会	たつの市	三田市
竹原子ども会	たつの市	三田市
中村子ども会	たつの市	三田市
東用子ども会	たつの市	三田市
誉田婦人会	たつの市	三田市
にしきの会	芦屋市	三田市
芦屋トライアルズ	芦屋市	三田市
日本宇宙少年団六甲分団	芦屋市	三田市
武庫川円卓会議	芦屋市	三田市
こやっこ	伊丹市	三田市
伊丹笹原ライオンズクラブ	伊丹市	三田市
伊丹市土に親しむ会	伊丹市	三田市
伊丹市民生OB会	伊丹市	三田市
荻野老人会	伊丹市	三田市
御願塚婦人会	伊丹市	三田市
昆陽池自治会	伊丹市	三木市
西台婦人会	伊丹市	三木市
撰陽地区社会福祉協議会	伊丹市	三木市
柏木町自治会	伊丹市	三木市
文化財愛護少年団	伊丹市	三木市
北池尻団地自治会	伊丹市	三木市
野末子ども会	伊丹市	三木市
十七丁子ども会	稻美町	三木市
出新田百丁場子ども会	稻美町	三木市
宮北子ども会	播磨町	三木市
鹿の川自治会	播磨町	山崎町
野添城子ども会	播磨町	山崎町
いなみの学園	加古川市	市川町
いなみ野学園陶芸学科4年生	加古川市	市川町
ローズヴィラ東加古川少年団	加古川市	宍粟市
加古川市身体障害者福祉協議会	加古川市	宍粟市
加古川市氷丘民生児童委員協議会	加古川市	宍粟市
加古川市養田少年団	加古川市	宍粟市
加古川市立中央隣保館	加古川市	宍粟市
加古川緑花クラブ	加古川市	宍粟市
五気会研究会	加古川市	篠山市
今福少年団	加古川市	篠山市
若宮小学校大崎少年団	加古川市	篠山市
出河原東部自治会	加古川市	篠山市
新神野8丁目町内会	加古川市	篠山市
西条育友会	加古川市	篠山市
尾上小学校PTA研修部	加古川市	洲本市
尾上少年団長田中隊	加古川市	洲本市
蛭池老人クラブ	加古川市	洲本市
兵庫県交通一般産業労働組合	加古川市	洲本市
平岡北少年団寺田隊	加古川市	小野市
野口少年団良野隊	加古川市	小野市
河内町子ども会	加西市	小野市
賀茂地区老人クラブ	加西市	小野市
四季折々ウォーク	加西市	小野市
西高室子ども会	加西市	小野市
満久町子ども会	加西市	小野市
下久米子ども会	加東市	上月町
挙正会	加東市	新温泉町
更生保護女性会	加東市	神戸市
上久米子ども会	加東市	神戸市
上田子ども会	加東市	神戸市
山田区	香美町	神戸市
村岡少年野球クラブ	香美町	神戸市
スポーツクラブ21高砂	高砂市	神戸市
三六会		
米田国民学校同窓会		
海内地域づくり協議会		
佐用栄町子ども会		
佐用町パブリックサービス協会		
佐用町高年大学三日月教室		
佐用町高年大学上月教室		
上月町地域づくり推進研修会		
あかしあ台小学校第一・第二児童クラブ		
いづみ会		
こぐまちゃんの会		
シニア自然学13期花4グループ		
ゆりのき台児童クラブ		
わくわくクラブ(動く市政教室)		
わくわくクラブ(動く市政教室)		
観光モニタリングツアー「三田炭獣と丹波竜を		
貴志ウォーキングの会		
広野地区ふれあい活動推進協議会		
三田市シルバー人材センター		
三田市緑ヶ丘子ども会		
全国森林インストラクターひょうごの会		
富士が丘1丁目自治会熟年部会		
富士児童クラブ		
武庫児童クラブ武庫第2児童クラブ		
兵庫県公立高等学校教頭会		
宝塚三田病院		
北摂三田福祉の里さくら療育園2病棟		
北摂第一幼稚園保護者会		
三木市教育委員会		
三木市緑が丘町高齢者教室		
青山公民館		
東自由が丘1丁目子ども会		
八尋会		
兵庫県高齢者放送大学三木友の会		
山崎郷土研究会		
誠心学園保護者交流会		
ときの会		
神崎郡友の会		
さつき会1班		
さつき会2班		
さつき班3班		
皆森会		
山崎町神野地区婦人会		
大沢子ども会		
ささやま市民文化講座		
下小野原子ども会		
下篠見自治会		
篠山市立古市小学校4年親子活動		
若草子ども会		
西紀ボランティア連絡協議会		
第九福寿会		
篠見自治会		
味間新妙見講		
大野クラブ		
コミュニケーションセンターきすみの		
みどりの少年団		
小野市教育委員会キビタ地区子ども会		
小野地区健全育成会		
淨谷団地子ども会		
大部地区老人会		
日吉町子ども会		
小赤松子ども会		
春来子ども会		
JLC兵庫長田支部げんきながら		
アメニティホーム夢野		
いなみの学園陶芸学科		
いなみの学園陶芸学科		
ウェルネス・アウトドア北鈴蘭台		
ガツツクラブ		

くらぶかすとむ神戸支部	神戸市	西宮市	西宮市
コーフこうべ総代OBの会	神戸市	西宮市	西宮市
しおじ会	神戸市	西宮市	西宮市
シルバーカレッジ食文化12期生	神戸市	西宮市	西宮市
シリニヨウ	神戸市	西宮市	西宮市
ナブコ交友会	神戸市	西宮市	西宮市
ひょうご県友会阪神支部役員会	神戸市	西宮市	西宮市
ろっこう医療生活共同組合	神戸市	西宮市	西宮市
ワイルド・オブ・ゆう	神戸市	西宮市	西宮市
伊川谷高校PTA	神戸市	西宮市	西宮市
井吹台シティーコート東自治会	神戸市	西宮市	西宮市
稻刈体験ツアー	神戸市	西宮市	西宮市
塩屋国道地区自治会	神戸市	西宮市	西宮市
押部谷老人クラブ連絡協議会	神戸市	西宮市	西宮市
家庭倫理の会 神戸市子供倫理塾	神戸市	西宮市	西宮市
玉津南公民館自然観察教室	神戸市	西宮市	西宮市
研究会	神戸市	西宮市	西宮市
元柴海1丁目町会	神戸市	西宮市	西宮市
御影西町区自治会	神戸市	西宮市	西宮市
御影東町区自治会	神戸市	西宮市	西宮市
社会福祉法人神戸光有会あるぶる夢野	神戸市	西宮市	西宮市
住吉区食生活改善推進協議会	神戸市	西宮市	西宮市
住吉川病院患者会	神戸市	西宮市	西宮市
小東山県営住宅	神戸市	西宮市	西宮市
小部子ども会	神戸市	西宮市	西宮市
松尾少年団野球部	神戸市	西宮市	西宮市
森のインストラクター養成講座	神戸市	西宮市	西宮市
森川佳美	神戸市	西宮市	西宮市
真野ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	西宮市	西宮市
神戸クロスカルチャーランセンター	神戸市	西宮市	西宮市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	西宮市	西宮市
神戸市シルバーカレッジOB社交ダンスクラブ	神戸市	西宮市	西宮市
神戸市須磨区東落合シルバークラブ	神戸市	西宮市	西宮市
神戸市立好徳児童館	神戸市	西宮市	西宮市
神戸市立高等学校教育研究会 理科部会	神戸市	西宮市	西宮市
神戸新聞廣告局業務推進部	神戸市	西宮市	西宮市
神小研理科部北ブロック	神戸市	西宮市	西宮市
須磨納税協会	神戸市	西宮市	西宮市
切戸町自治会	神戸市	西宮市	西宮市
全日本年金者組合神戸中央区支部	神戸市	西宮市	西宮市
多聞南ふれあいのまちづくり協議会	神戸市	西宮市	西宮市
天が岡シニアクラブ	神戸市	西宮市	西宮市
東神戸医療互助組合第2部合同	神戸市	西宮市	西宮市
東垂水婦人会	神戸市	西宮市	西宮市
藤原台中町子ども会	神戸市	西宮市	西宮市
南別府子ども会	神戸市	西宮市	西宮市
南落合友愛訪問ボランティアグループ	神戸市	西宮市	西宮市
飛松会	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫区民生委員児童委員協議会	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県高等学校教育研究会地学部会	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県高齢者放送大学神戸市友の会	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県私学理科教員研修	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県中学校退職校長会	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県立神戸生活創造センター	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県立星陵高校PTA	神戸市	西宮市	西宮市
兵庫県緑の少年団連盟	神戸市	西宮市	西宮市
北須磨自然観察クラブ	神戸市	西宮市	西宮市
有野台児童館	神戸市	西宮市	西宮市
和貴以クラブ	神戸市	西宮市	西宮市
糺谷小学校3年生	神戸市	西宮市	西宮市
すずらん会	神崎郡	西宮市	西宮市
スポーツクラブ21上小田	神崎郡	西宮市	西宮市
山崎妙見講	神崎郡	西宮市	西宮市
拍尾子ども会	神崎郡	西宮市	西宮市
新町子ども会	福崎町	西宮市	西宮市
田原小学校PTA学級	福崎町	西宮市	西宮市
安井地区環境衛生協議会	西宮市	西宮市	西宮市
今津育成センター	西宮市	西宮市	西宮市
砂子療育園	西宮市	西宮市	西宮市
市川イトコ会	西宮市	西宮市	西宮市
西宮公同幼稚園	西宮市	西宮市	西宮市
西宮市教員研修	西宮市	西宮市	西宮市
浜甲子園団地老人クラブ連合会	西宮市	西宮市	西宮市
浜脇校区老人クラブ連合会	西宮市	西宮市	西宮市
浜脇老人クラブ	西宮市	西宮市	西宮市
武庫川団地自治会	兵庫県	西宮市	西宮市
兵庫県学校厚生会阪神南支部	西宮市	西宮市	西宮市
用海校区連合婦人会	西宮市	西宮市	西宮市
給食ボランティア	西宮市	西宮市	西宮市
住吉町婦人会	西宮市	西宮市	西宮市
西脇市立重春小学校家庭教育学級	西脇市	西脇市	西脇市
谷町子ども会	西脇市	西脇市	西脇市
津万井子ども会	西脇市	西脇市	西脇市
宿東子ども会	西脇市	西脇市	西脇市
上郡交通安全協会	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
塩屋小学校PTA	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
高齢者大学赤穂西学園	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
高齢者大学福寿学園	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
本水尾町子ども会	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
蓼州学園	赤穂郡	赤穂郡	赤穂郡
JA東谷支部女性会	川西市	川西市	川西市
NPO法人シニア自然大学（風組）	川西市	川西市	川西市
パンピ子ども会	川西市	川西市	川西市
加茂小地区福祉委員ほのぼの会	川西市	川西市	川西市
阪神南すごろく制作委員会	川西市	川西市	川西市
川西市ボランティア連絡協議会	川西市	川西市	川西市
川西市りんどう学園	川西市	川西市	川西市
川西市子ども会連絡協議会	川西市	川西市	川西市
川西市生涯学習インストラクターの会	川西市	川西市	川西市
平成会	川西市	川西市	川西市
矢間子ども会	川西市	川西市	川西市
リバグレス猪名川	猪名川町	猪名川町	猪名川町
猪名川木喰会	猪名川町	猪名川町	猪名川町
IHI OB会	相生市	相生市	相生市
金ヶ崎学園大学園芸コース	相生市	相生市	相生市
赤相みのり家族会相生支部作業所	相生市	相生市	相生市
相生市看護あゆみの会	相生市	相生市	相生市
矢野川地域会	多可郡	多可郡	多可郡
多可町生活創造大学	多可郡	多可郡	多可郡
東山女性会	多可郡	多可郡	多可郡
箸荷子ども会	多可郡	多可郡	多可郡
放送大学西脇多可地区友の会	多可郡	多可郡	多可郡
太子ニュータウン子ども会	太子町	丹波市	丹波市
JAM島町女性会	丹波市	丹波市	丹波市
コーフ委員会柏原	丹波市	丹波市	丹波市
こばと保育園	丹波市	丹波市	丹波市
やまなみ大学	丹波市	丹波市	丹波市
奥子ども会	丹波市	丹波市	丹波市
下町沖田子供会	丹波市	丹波市	丹波市
岩屋ボランティア	丹波市	丹波市	丹波市
見長子ども会	丹波市	丹波市	丹波市
三相園	丹波市	丹波市	丹波市
三輪小学校同窓会	丹波市	丹波市	丹波市
山南町なかよし会	丹波市	丹波市	丹波市
舟越	丹波市	丹波市	丹波市
大名草子ども会	丹波市	丹波市	丹波市
第8回県庁見学ツアード	丹波市	丹波市	丹波市
棚原老人クラブ	丹波市	丹波市	丹波市
丹波の森公苑高齢者大学	丹波市	丹波市	丹波市
丹波市春日睦会	丹波市	丹波市	丹波市
丹波市青垣町田井縄公民館	丹波市	丹波市	丹波市
丹波市中町公民館	丹波市	丹波市	丹波市
丹波市柏原町古市場町自治会	丹波市	丹波市	丹波市
丹波市保健衛生推進協議会	丹波市	丹波市	丹波市
丹波氏婦人共励会	丹波市	丹波市	丹波市
中央地区老人クラブ	丹波市	丹波市	丹波市
東区子ども会	丹波市	丹波市	丹波市
畠内自治会	丹波市	丹波市	丹波市
氷上町郷土史研究会	丹波市	丹波市	丹波市
氷上町県住子ども会	丹波市	丹波市	丹波市

和田支部婦人会	丹波市	やまぼうしくらぶ	宝塚市
淡路景観園芸学校	淡路市	安倉里ノ坊キングス	宝塚市
ふるさと文化一宮学園	淡路市	環境都市宝塚推進市民会議	宝塚市
岩屋中学校職員研修会	淡路市	希望の森ワークセンター	宝塚市
大老老人クラブ	淡路市	阪神シニアカレッジ	宝塚市
中田村親睦会	淡路市	仁川月見ガ丘自治会	宝塚市
津名給食ボランティア	淡路市	中部子ども会	宝塚市
天神老荘クラブ	淡路市	美浜会	宝塚市
加都子ども会	朝来市	兵庫県阪神シニアカレッジ3年生	宝塚市
朝来わんぱく教室	朝来市	兵庫県阪神シニアカレッジ4年生	宝塚市
朝来市健康福祉大学	朝来市	宝塚コドモアテネ	宝塚市
平野子ども会	朝来市	宝塚市立宝塚小学校4年生	宝塚市
枚田子ども会	朝来市	宝塚市和三田自治会	宝塚市
阿万婦人会	南あわじ市	こころ豊かな人づくり500人委員会但馬OB会	豊岡市
アップストリーム障害者支援センター	尼崎市	旭友会	豊岡市
つみきハウス	尼崎市	江野育成会	豊岡市
ヒューマン・アカデミー	尼崎市	上佐野育成会	豊岡市
高校生連絡会議HLC	尼崎市	大開東子ども会	豊岡市
崇徳院第9福祉協会	尼崎市	但馬くすの木学級	豊岡市
尼崎環境塾同窓会	尼崎市	但馬環境保全連絡会	豊岡市
尼崎高等学校PTA	尼崎市	但馬地区消費者団体連絡協議会	豊岡市
尼崎市公園愛護会連合会	尼崎市	鶴岡子ども会	豊岡市
尼崎市社会福祉連絡協議会三協合同研修	尼崎市	豊岡市日高町地域老人クラブ連合会	豊岡市
尼崎市小学校教頭会	尼崎市	豊岡本町子ども会	豊岡市
尼崎市水堂3丁目福祉協会	尼崎市	アルス子ども会	明石市
尼崎市防災協会中支部	尼崎市	サーバービア子ども会	明石市
日本ボイスカウト尼崎第25団	播磨町	サンハイツ貴島自治会	明石市
はりま町老人部歩こう会	播磨町	スポーツクラブ21高丘西	明石市
播磨西学童保育所	美方郡	みどり子ども会	明石市
どちらのみ大学	美方郡	音のさんぽみち	明石市
兎塚区老人クラブ	姫路市	高丘3丁目南子ども会	明石市
つじい子ども会	姫路市	高丘第三団地子ども会	明石市
ボイスカウト姫路第6団	姫路市	神明子ども会	明石市
下太田子供会	姫路市	西二見子ども会	明石市
玉地子ども会	姫路市	赤根川高年クラブ	明石市
継子ども会	姫路市	赤根川子ども会	明石市
五島診療所	姫路市	中谷町町内会	明石市
御立本村子ども会	姫路市	中尾子ども会	明石市
好古学園大学校院一史学A組	姫路市	中尾北子ども会	明石市
好古学園大学校史学科A組	姫路市	長坂寺子ども会	明石市
荒神山子ども会	姫路市	二見小学校5年生	明石市
香寺土師土地区画整理組合	姫路市	北王子町子ども会	明石市
香寺歴史研究会	姫路市	明石シニアカレッジ	明石市
香呂子ども会	姫路市	明石商業高等学校PTA	明石市
手話サークルポパイ	姫路市	明石川再生流域協議会	明石市
重国子ども会	姫路市	鈴谷子ども会	明石市
聖徳台自治会	姫路市	馬場子ども会	揖保郡
西今宿6丁目自治会	姫路市	たんぽぽの家保護者会	養父市
西天神町自治会・子ども会	姫路市	伊佐子ども会	養父市
船津町仁色子ども会	姫路市	関宮上木町町内会	養父市
双樹会歩こうクラブ	姫路市	吉井育成会	養父市
大善町子ども会	姫路市	上箇子ども会	養父市
大沢子ども会	姫路市	畠子ども会	養父市
谷内子ども会	姫路市	八鹿公民館	養父市
丁子ども会	姫路市	本町町内会	養父市
勅旨子ども会	姫路市	養父子ども会	養父市
東阿保子ども会	姫路市	野谷子ども会	養父市
南八家子ども会	姫路市		
姫山会	姫路市		
姫路建設組合	姫路市		
姫路市西町坪老人クラブ	姫路市		
姫路市堀川町自治会	姫路市		
兵庫県播磨地区里親会	姫路市		
豊富台子ども会	姫路市		
北山田子ども会	姫路市		
睦町子ども会	姫路市		
薮田子ども会	姫路市		
有田会	姫路市		
新宮高等学校PTA	宝塚市		
コミュニティ西山	宝塚市		
シニアクラブ満願の里	宝塚市		
バラホーム保育所子ども会	宝塚市		
【県外】			
オーシャン			
カネカ労働組合大阪支部			
かわかつのさと			
コスマス会			
シニア自然大学14期花組			
シニア自然大学14期風組			
シニア自然大学花組			
シニア自然大学星組			
シニア自然大学緑組			
つばさ福祉作業所			
茨城市立沢良宣青少年センター			
茨田大宮なかよし会			
関西電力難波営業所 大口懇談会			

交野四条畷市こころの病いと共に歩む会	大阪府	陵南の森	大阪府
佐保会大阪支部	大阪府	歴史散歩の会	大阪府
阪大テニスサークルLTC	大阪府	YHS福知山No29「吉川ぶどう狩りとアウトレット」	京都府
市立池田病院職員組合	大阪府	きつづ光科学館ふおとんサイエンスクラブ	京都府
守口市エイボンシリーネットワーク	大阪府	海部子ども土曜お楽しみ会	京都府
渡川第二子ども会	大阪府	京都市立桂東小学校教職員研修	京都府
松愛会北大阪見学クラブ	大阪府	福知山市教育委員会中央公民館	京都府
上代町5組	大阪府	福知山市夕陽ヶ丘子ども会	京都府
西山田福祉委員会	大阪府	木津町緑化協会	京都府
西成区社会福祉協議会	大阪府	和敬学園	京都府
全日本年金者組合此花支部	大阪府	土師新町子ども会	京都府
曹洞宗大雄院護持会	大阪府	きらきら相和	奈良県
大阪市日本橋少年少女発明クラブ	大阪府	ひまわりの家	奈良県
大阪自治労連校務員部会	大阪府	王寺歴史クラブ	奈良県
大東市小学校教育研究会理科部会	大阪府	大宮地区社会福祉協議会	奈良県
東住吉高校みどり会	大阪府	読売大和八木営業所いちご狩りツアー	奈良県
東成区薬剤師会	大阪府	つれもて行こう会	和歌山県
東村自治会	大阪府	紫香楽病院	滋賀県
東大阪第三ガーデンハイツ	大阪府	滋賀県消防学校	滋賀県
東中本連合第14町会	大阪府	田中白楽会	三重県
東淀川区社会事業教育推進部会	大阪府	岡山支部理科部会	岡山県
日交バスツアー	大阪府	泉町内会	岡山県
浜五子ども会	大阪府	NHK鳥取文化センター	鳥取県
保育園卒園生の会	大阪府	芦津子ども会	鳥取県
豊川南小学校5年生	大阪府	プレミアムミステリーツアー	愛媛県
豊中市教育センター	大阪府	高松市立亀阜小学校職員	香川県
陽光会	大阪府		
里山連携講座	大阪府		

476団体(のべ488団体)

# 来館学校団体一覧

団体名	地域
<b>&lt;県内&gt;</b>	
<b>&lt;幼稚園・保育園&gt;</b>	
神戸市立本山保育所	伊丹市
明照保育園	伊丹市
からと幼稚園	伊丹市
港島幼稚園	伊丹市
神港みどり幼稚園	伊丹市
神陵台幼稚園	伊丹市
西舞子幼稚園	伊丹市
道場保育園	伊丹市
道場幼稚園	伊丹市
青い鳥学園	芦屋市
愛光幼稚園	西宮市
神戸海星女子学院マリア幼稚園	尼崎市
みこころ幼稚園	三田市
武庫愛の園幼稚園	三田市
光の子保育園	三木市
若草保育園	宝塚市
三田さち幼稚園	宝塚市
北摂第一幼稚園	宝塚市
北摂中央幼稚園	宝塚市
本庄幼稚園	三田市
弥生幼稚園	三木市
志染保育所	宝塚市
社会福祉法人えびす保育園	宝塚市
わかばのもり保育園	宝塚市
中山五月台幼稚園	宝塚市
宝塚自然幼稚園	宝塚市
西谷幼稚園	宝塚市
光明保育所	小野市
西脇市立西脇幼稚園	西脇市
城南幼稚園	篠山市
ながの保育園	丹波市
わかくさ保育園	丹波市
<b>&lt;小学校&gt;</b>	
神戸市立井吹東小学校	神戸市
神戸市立玉津第一小学校	神戸市
神戸市立高津橋小学校	神戸市
神戸市立桜宮小学校	神戸市
神戸市立山田小学校	神戸市
神戸市立鹿の子台小学校	神戸市
神戸市立若宮小学校	神戸市
神戸市立出合小学校	神戸市
神戸市立松尾小学校	神戸市
神戸市立上筒井小学校	神戸市
神戸市立神出小学校	神戸市
神戸市立西脇小学校	神戸市
神戸市立藤原台小学校	神戸市
神戸市立南落合小学校	神戸市
神戸市立有瀬小学校	神戸市
神戸大学附属住吉小学校	神戸市
神戸市立神陵台小学校	神戸市
神戸市立須磨浦小学校	神戸市
神戸市立大池小学校	神戸市
神戸市立筑紫が丘小学校	神戸市
神戸市立中央小学校	神戸市
神戸市立道場小学校	神戸市
神戸市立本山南小学校	神戸市
神戸市立明親小学校	神戸市
神戸市立有野小学校	神戸市
神戸市立有野台小学校	神戸市
芦屋市立野東小学校	芦屋市
西宮市立潮見小学校	西宮市
西宮市立安井小学校	西宮市
西宮市立甲陽園小学校	西宮市
西宮市立上ヶ原南小学校	西宮市
西宮市立夙川小学校	西宮市
西宮市立西宮浜小学校	西宮市
西宮市立段上小学校	西宮市
西宮市立段上西小学校	西宮市
西宮市立東山台小学校	西宮市
西宮市立北六甲台小学校	西宮市
西宮市立山口小学校	西宮市
尼崎市立潮小学校	尼崎市
尼崎市立杭瀬小学校	尼崎市
伊丹市立桜台小学校	伊丹市
伊丹市立荻野小学校	伊丹市
伊丹市立花里小学校	伊丹市
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市
伊丹市立笛原小学校	伊丹市

<中学校>	
神戸市立塙屋中学校	神戸市
神戸市立歌敷山中学校	神戸市
神戸市立桜の宮中学校	神戸市
神戸市立神陵台中学校	神戸市
神戸市立西神中学校	神戸市
神戸市立桃山台中学校	神戸市
神戸市立櫟谷中学校	神戸市
神戸市立飛松中学校	神戸市
神戸市立鈴蘭台中学校	神戸市
神戸市立高倉中学校	神戸市
尼崎市立武庫中学校	尼崎市
猪名川町立中谷中学校	猪名川町
猪名川町立猪名川中学校	猪名川町
三木市立星陽中学校	三木市
播磨町立稻美北中学校	稻美町
播磨町立播磨中学校	播磨町
加古川市立平岡南中学校	加古川市
加西市立加西中学校	加西市
加西市立泉中学校	加西市
加西市立北条中学校	加西市
小野市立河合中学校	小野市
西脇市立黒田庄中学校	西脇市
西脇市立西脇南中学校	西脇市
西脇市立西脇東中学校	西脇市
多可町立八千代中学校	多可郡
姫路市立琴陵中学校	姫路市
姫路市立高丘中学校	姫路市
姫路市立菅野中学校	姫路市
姫路市立置塙中学校	姫路市
兵庫県立大附属中学校	上郡町
たつの市立龍野東中学校	たつの市
たつの市立御津中学校	たつの市
たつの市立新宮中学校	たつの市
佐用町立佐用中学校	佐用町
佐用町立上月中学校	佐用町
佐用町立上津中学校	佐用町
佐用町立三日月中学校	佐用町
宍粟市立山崎南中学校	宍粟市
丹波市立市島中学校	丹波市
新温泉町立浜坂中学校	新温泉町
朝来市立生野中学校	朝来市
朝来市立大屋中学校	朝来市
朝来市立梁瀬中学校	朝来市
近畿大学附属豊岡中学校	豊岡市
豊岡市立港中学校	豊岡市
豊岡市立日高西中学校	豊岡市
豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市
養父市立関宮中学校	養父市
養父市立青渓中学校	養父市
養父市立養父中学校	養父市
<高等学校>	
甲南女子高等学校	神戸市
神戸市立六甲アイランド高校	神戸市
神戸市立須磨高等学校	神戸市
兵庫県立青雲高等学校	神戸市
兵庫県立舞子高等学校	芦屋市
クラーク記念国際高等学校	西宮市
兵庫県立西宮甲山高等学校	西宮市
兵庫県立西宮北高等学校	西宮市
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市
兵庫県立有馬高等学校	三田市
兵庫県立三田祥雲館高等学校	三田市
兵庫県立西脇工業高等学校	西脇市
兵庫県立西脇高等学校	西脇市
兵庫県立福嶺高等学校	福嶺町
兵庫県立姫路飾磨西高等学校	姫路市
兵庫県立佐用高等学校	佐用町
兵庫県立大学附属高等学校	上郡町
兵庫県立相生高等学校	相生市
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市
兵庫県立柏原高等学校	丹波市
<大学・専門学校ほか>	
ピーターパンインターナショナルプレスクール	神戸市
神戸朝鮮初中級学校	神戸市
工業高等都市工業科	神戸市
兵庫県総合衛星学院歯科衛生学科	神戸市
神戸大学	
神戸大学農学部	神戸市
神戸大学理学部	神戸市
神戸聴覚特別支援学校	神戸市
兵庫県立神出学園	神戸市
尼崎養護学校	西宮市
西宮市適応指導教室あすなろ学級	西宮市
兵庫県立阪神特別支援学校	西宮市
伊丹朝鮮初級学校	伊丹市
関西学院大学総合政策学部	三田市
兵庫県立高等特別支援学校	三田市
小野市立特別支援学校	小野市
兵庫教育大学	加東市
加東市立中学校特別支援学級	加東市
兵庫県立大学環境人間学部	姫路市
淡路景観芸術学校	淡路市
<県外>	
<幼稚園>	
おおわだ保育園	大阪府
親東三国保育園	大阪府
カトリック聖マリア幼稚園	大阪府
吹六保育園	大阪府
東雲幼稚園	大阪府
大正幼稚園	京都府
<小学校>	
追手門学院小学校	大阪府
茨木市立天王小学校	大阪府
茨木市立東奈良小学校	大阪府
吹田市立岸辺第二小学校	大阪府
茨木市立玉櫛小学校	大阪府
茨木市立玉島小学校	大阪府
高槻市立富田小学校	大阪府
茨木市立春日小学校	大阪府
吹田市立桃山台小学校	大阪府
茨木市立水尾小学校	大阪府
吹田市立青山台小学校	大阪府
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府
茨木市立大池小学校	大阪府
池田市立呉服小学校	大阪府
池田市立石橋小学校	大阪府
吹田市立東佐井寺小学校	大阪府
吹田市立東山田小学校	大阪府
茨木市立白川小学校	大阪府
箕面市立東小学校	大阪府
箕面市立豊川北小学校	大阪府
箕面市立箕面中小学校	大阪府
福知山市立庵我小学校	京都府
京丹波町立俊明小学校	京都府
舞鶴市立余内小学校	京都府
舞鶴市立大浦小学校	京都府
舞鶴市立与保呂小学校	京都府
<中学校>	
河内長野市立東中学校	大阪府
開明中学校	大阪府
関西大倉中学校	大阪府
池田市立石橋中学校	大阪府
大阪薫英女学院中学校	大阪府
<高等学校>	
大阪府立泉州北高等学校	大阪府
大阪府立北野高等学校	大阪府
大阪府立刀根山高等学校	大阪府
京都府立桃山高等学校	京都府
和歌山県立海南高等学校	和歌山県
和歌山県立向陽高等学校	和歌山県
愛媛県立松山南高等学校	愛媛県
香川県立観音寺第一高等学校	香川県
<大学・専門学校ほか>	
八尾養護学校高等部	大阪府
大阪情報専門学校	大阪府
大阪大学理学部化学科	大阪府
京都教育大学	京都府
広島女学院大学	広島県
國學院大學	東京都

合

計

( 309校)

## 共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【キャラバン事業】

地域名	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジターナンバー
但馬	ハチ北高原	2007.4.1-2008.3.31	民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興	92
丹波	(1)山南住民センター (2)丹波の森公苑	(1)2007.4.14-30 (2)2007.8.3-9	(展示タイトル) (1)丹波市の恐竜化石速報展 (2)丹波の恐竜化石	12759
阪神北	県立有馬富士公園	2007.4.28-30	ひとはくミニキャラバン in '07 有馬富士ウイーク	15982
阪神南	芦屋美術博物館	2007.7.21-9.24	芦屋の森・川・海を活かした新しい博物館学の実践 (展示タイトル)牧野四子吉の世界—自然観察の愉しみ—	3433
西播磨	兵庫県立大学 学園都市キャンパス	2007.9.29	ひとはくミニキャラバン in 県政学会	350
阪神北	県立有馬富士公園	2007.10.20-21	ひとはくミニキャラバン in '07 秋の有馬富士フェスティバル	12209
西播磨	播磨科学公園都市 芝生広場	2007.10.27-28	ひとはくミニキャラバン in ふれあいの祭典2007	85000
丹波	丹波の森公苑	2007.10.28	ひとはくミニキャラバン in 丹波の森公苑祭典	11800
西播磨	姫路市立八木小学校	2007.11.14-29	ひとはくがやってくる in ひめじ 理科がもっと好きになる	315
神戸	神戸市立糀台小学校	2007.11.30-12.13	ひとはくがやってくる in こうべ 理科がもっと好きになる	885
阪神南	西宮市立山口小学校	2008.1.10-22	ひとはくがやってくる in にのみや 理科がもっと好きになる	787
中播磨	高砂市立荒井小学校	2008.1.21-26	ひとはくがやってくる in たかさご 理科がもっと好きになる	1829
阪神南	尼崎市立武庫の里小学校	2008.1.23-2.14	ひとはくがやってくる in あまがさき 理科がもっと好きになる	1450
阪神南	宝塚市立西山小学校	2008.1.23-30	ひとはくがやってくる in たからづか 理科がもっと好きになる	1368
西播磨	さよう文化情報センター	2008.1.27-2.3	「さよう子どもアートスクール」展覧会 with ひとはくキャラバン	551
阪神北	県立一庫公園	2008.2.1-5.31	里山林の保全・復元・再生 (展示タイトル)日本の里山、ひょうごの里山	22567

### 1. 香美町（但馬）

キャラバン参画者の所属

有限責任中間法人 ハチ北高原自然協会（ハチ北観光協会）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
春の自然観察会ワークショップ	5.16-17	ハチ北高原	39	大沼湿原周辺を中心とした植物観察	高橋 晃、八木 剛、布施静香、高野温子
ハチ北ホタル探検隊ワークショップ	6.20-21	香美町大 笹ハチ北高原	20	チームに分かれてホタルの現地調査	八木 剛
情報交換会	7.28	ハチ北観光協会	5	ハチ北高原サマースクールの紹介	八木 剛
最終氷期の大沼湿原を探る	10.4	但馬高原植物園	7	室内講義	加藤茂弘
ハチ北高原の地形と地質・岩石	10.4	ハチ北高原	8	大沼湿原を中心とした地形、地質、岩石の観察	加藤茂弘
野外観察とワークショップ：秋の植物観察会	10.18	ハチ北高原	13	大沼湿原周辺を中心とした植物観察	高橋 晃・布施静香・福田知子

### 2. 丹波市（丹波）

キャラバン参画者の所属

丹波県民局、丹波市企画部恐竜を活かしたまちづくり課、上久下自治会、上久下振興会、篠山層群をしらべる会、地元・県内在住ボランティア

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
恐竜を活かしたまちづくりシンポジウム	4.22	丹波市山南町	333	まちづくりに関するシンポジウムと発掘報告	中瀬 熊・三枝春生
丹波の恐竜化石現地解説	7.14	丹波市山南町	10	恐竜化石発掘現場で見学者に解説	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	7.21	丹波市山南町	18	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	7.28	丹波市山南町	9	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	8.4	丹波市山南町	13	発掘残土からの化石探索	松原尚志
化石のレプリカを作つてみよう！	8.5	丹波の森公苑	53	アンモナイトや三葉虫化石のレプリカ作成	古谷 裕
化石の発掘体験をしよう！	8.7	丹波の森公苑	83	発掘残土からの化石探索	三枝春生
化石の発掘体験をしよう！	8.7	丹波の森公苑	84	発掘残土からの化石探索	三枝春生
化石のレプリカを作つてみよう！	8.8	丹波の森公苑	79	アンモナイトや三葉虫化石のレプリカ作成	古谷 裕・半田久美子
現地解説(オープソセミナー)	8.11	丹波市山南町	132	恐竜化石発掘現場で見学者に解説	佐藤裕司・先山徹
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	8.11	丹波市山南町	14	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	8.18	丹波市山南町	13	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	8.25	丹波市山南町	18	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	9.1	丹波市山南町	12	発掘残土からの化石探索	古谷 裕
現地解説(オープソセミナー)	9.8	丹波市山南町	177	恐竜化石発掘現場で見学者に解説	加藤茂弘・古谷 裕
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	9.8	丹波市山南町	16	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	9.15	丹波市山南町	11	発掘残土からの化石探索	半田久美子
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	9.22	丹波市山南町	15	発掘残土からの化石探索	松原尚志
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	9.29	丹波市山南町	3	発掘残土からの化石探索	加藤茂弘
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	10.6	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	10.13	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	10.20	丹波市山南町	7	発掘残土からの化石探索	松原尚志・池田忠広
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	10.27	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	半田久美子
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	11.3	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	池田忠広
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	11.10	丹波市山南町	0	発掘残土からの化石探索	半田久美子
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	11.17	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波流会説ボランティア養成セミナー	11.18	丹波市山南町	25	恐竜は靴現場での解説ボランティアを養成するための恐竜と地層に関する基礎知識	三枝春生・先山徹
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	11.24	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	三枝春生
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	12.1	丹波市山南町	3	発掘残土からの化石探索	半田久美子
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	12.8	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	古谷 裕
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	12.15	丹波市山南町	4	発掘残土からの化石探索	池田忠広
丹波キャラバンリサーチプロジェクト	12.22	丹波市山南町	6	発掘残土からの化石探索	松原尚志

### 3. 佐用町（西播磨）

キャラバン参画者の所属

佐用町生涯学習課、佐用町石井地域、ひょうご震災記念21世紀研究機構

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ピンホールカメラをつくろう	8.3	佐用町石井水根公民館	17	牛乳パックを利用してピンホールカメラを作成し水根の風景を撮影した。	赤澤宏樹
佐用の草花で紙すきをしよう	10.20	さよう文化情報センター	9	牛乳パックと用いて紙すき体験を実施、またススキやツユクサなどの草花をすきこみ、オリジナルのハガキを作成した。	嶽山洋志
渦の不思議体験！墨流し	10.20	さよう文化情報センター	9	墨汁と石けん水で、渦模様を作り出し、それを画用紙に写し取る一種のアート。渦の模様は、同じ模様は二度とできず、偶然による部分も大きいが、一定程度の技術も必要。渦を作り、その生成不滅を体験してもらいながら、自然の中にある渦、渦の役割や、渦の性質について解説を行った。	客野尚志
昔の佐用を集めよう！	12.16	水根公民館	16	さようアーツスクール参加の子どもたち、石井地域の方々に呼びかけて昔の写真を収集し、当時のようなどうについて意見交換した。成果は展覧会に出品し、共生のひろばで発表した。	赤澤宏樹・客野尚志

### 4. 川西市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

環境省、NPO 法人シニア自然大学、猪名川町、阪神南県民局、宝塚市、国土交通省、兵庫県宝塚農林事務所、財団法人兵庫県園芸・公園協会有馬富士公園管理事務所、近畿・中国森林管理局、財団法人兵庫県園芸・公園協会一庫公園管理事務所

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
北摂里地里山会議	7.3	博物館	30	関係者が一同に会し、北摂地域の里地里山を保全再生するための取り組みについて協議した。	服部 保・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂
シニア自然大学講座部本科(里山保全観察会)	7.23	川西市黒川公民館	60	里山に関する講義と観察会を行った。	服部 保
シニア自然大学講座部本科(里山保全観察会)	7.26	川西市黒川公民館	60	里山に関する講義と観察会を行った。	田村和也
リバグレス猪名川「猪名川流域の里山(セミナー)」	9.1	猪名川町	40	猪名川流域の里山に関する講義を行った。	服部 保
里山連携講座1「里山に関する講義」	9.23	博物館	86	関係機関と連携して里山に関する講義と里山調査の実習を行った。	服部 保・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂・南山典子・田村和也ほか
エドヒガン調査研修会	9.24	一庫公園	10	エドヒガン(稀少種)に関する調査実習を行った。	石田弘明
博物館特注セミナー「里山と湿原の保全」	9.29	博物館	23	里山と湿原の保全に関する講義を行った。	服部 保
第2回エドヒガン調査研修会	10.13	一庫公園	8	エドヒガン(稀少種)に関する調査実習を行った。	黒田有寿茂
博物館セミナー「気ままに植物ウォッキング③一庫公園」	10.17	川西市一庫公園	23	里山の植物に関する観察会を行った。	黒田有寿茂
猪名川野草教室	10.20	伊丹市猪名川	132	子供たちを対象に、野草に関する様々な環境学習活動(観察、草笛づくり、草絵づくり、野草料理など)を行った。	服部 保・石田弘明・黒田有寿茂
高平里山まつり「里山勉強会」	10.21	三田市高平	6	里山の植物に関する観察会を行った。	服部 保・橋本佳延・黒田有寿茂
里山連携講座2	10.27	有馬富士公園	73	関係機関と連携して里山管理の実習を行った。	服部 保・石田弘明・黒田有寿茂
森林ボランティア養成スクール「黒川地区現地視察」	10.28	川西市黒川	25	黒川地区の里山に関する観察会を行った。	服部 保
第3回エドヒガン調査研修会	11.10	一庫公園	7	エドヒガン(稀少種)に関する調査実習を行った。	石田弘明
北摂里地里山会議	11.13	博物館	30	関係者が一同に会し、北摂地域の里地里山を保全再生するための取り組みについて協議した。	服部 保・石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂

里山保全観察	11.14	大阪市	50	里山に関する講義と観察会を行った。	服部 保
里山連携講座3	11.18	川西市黒川	75	関係機関と連携して里山の観察会を行つた。	服部 保・橋本佳延・黒田有寿茂
里山保全観察	11.24	川西市黒川	50	里山に関する講義と観察会を行つた。	服部 保
菊炭体験講座	11.26	大阪府能勢町	30	菊炭と炭焼きに関する講義を行つた。	服部 保
バスでめぐるひょうごの里山	12.8	博物館・有間富士公園・川西市黒川周辺	81	里山に関する講義と観察会を行つた。	橋本佳延・石田弘明・服部 保・小館誓治・鈴木武・藤井俊夫・黒田有寿茂
台場クヌギセミナー1	2.16	川西市黒川	50	台場クヌギの調査方法に関する講義を行つた。	服部 保・石田弘明・黒田有寿茂
台場クヌギセミナー2	2.24	川西市黒川周辺	20	台場クヌギ調査の実習を行つた。	服部 保・橋本佳延・黒田有寿茂
北摂里地里山会議	3.12	博物館	30	関係者が一同に会し、北摂地域の里地里山を保全再生するための取り組みについて協議した。	服部 保・橋本佳延・黒田有寿茂

## 5. 芦屋市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

NPO 法人さんびーす・芦屋の自然を守る会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
都市のヒートアイランドと緑の役割	5.21	芦屋市役所	80	都市のヒートアイランド現象の緩和に緑と水が果たす役割について解説。芦屋市域の人工衛星画像をしながら、芦屋川とそのそばの緑地帯が夏の暑熱を緩和していることを確認。	客野尚志
芦屋村エコキャンプ	5.27	あしや村	23	芦屋川上流部にある旧キャンプ場であるあしや村にて環境に配慮したキャンプを実施した。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川上流の水生生物観察会	7.22	芦屋川上流	85	芦屋川上流にて水生生物の観察会をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川のアコ観察会	8.4	芦屋川中流	59	芦屋川上流にてアコを中心として、水生生物の観察会をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
六甲山とあしやの生き物	8.25	芦屋市立美術博物館	15	芦屋美術博物館にて展示解説をおこなつた。	鈴木 武
宮川じやぶじやぶウォーク	8.25	宮川	58	宮川の河口から上流を歩いて、川の自然観察をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
モクズガニ調査	9.8	芦屋川中流	15	モクズガニの密度推定を行つた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
千種川モクズガニとアコを食べる遠足	10.27	上郡町(千種川)	25	千種川に出向いて、現地でとれたモクズガニとアコを食べた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川の勉強会	11.17	芦屋市民センター	5	芦屋川の自然環境や生態系についての学習をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川の勉強会	12.15	芦屋市民センター	14	芦屋川の自然環境や生態系についての学習をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
ゼロエミッションキャンプ	12.16	あしや村	25	芦屋川上流部にある旧キャンプ場であるあしや村にて環境に配慮したキャンプを実施した。	NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川の勉強会	1.19	芦屋市民センター	12	芦屋川の自然環境や生態系についての学習をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川の勉強会	2.11	芦屋市民センター	6	芦屋川の自然環境や生態系についての学習をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋の里山再生活動	3.16	あしや村	27	芦屋川上流部にある旧キャンプ場であるあしや村にて里山管理を行つた。	NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会
芦屋川の勉強会	3.22	芦屋市民センター	9	芦屋川の自然環境や生態系についての学習をおこなつた。	三橋弘宗・NPO法人さんびーす・芦屋の自然を守る会

## 6. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会（兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
春のむしをさがしに行こう	4.28	県立有馬富士公園	9	有馬富士公園内を散策し昆虫を探集して観察した。	大谷 剛
春のむしをさがしに行こう	4.28	県立有馬富士公園	20	有馬富士公園内を散策し昆虫を探集して観察した。	大谷 剛
春の花をながめてみよう	4.29	県立有馬富士公園	13	有馬富士公園内を散策して春の花を観察した。	橋本佳延

## 7. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会（兵庫県、三田市、人と自然の博物館、兵庫県園芸・公園協会、住民委員）

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
秋の植物を楽しもう	10.20-21	有馬富士公園	3	公園内の植物を講師の解説で観察した。	小館哲治・石田弘明
福島大池&鳥ツアー	10.20-21	有馬富士公園	6	鳥を観察しながら移動し福島大池でチチ自然再生湿地の解説を行った。	久加朋子(水辺のフィールドミュージアム研究会)・田口勇輝・遠藤菜緒子

## 8. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

兵庫県自治学会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
展示解説	9.26	兵庫県立大学 神戸学園都市 キャンパス	50	展示解説	古谷 裕・沢田佳久

## 9. 姫路市（中播磨）

キャラバン参画者の所属

姫路市立八木小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	11.28	姫路市立八木小学校	57	小学5年生を対象に化石の実物からレプリカの製作実習。同時に丹波の恐竜化石について講義。	平松紳一・春名潤一

## 10. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸市立糀台小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	12.6	神戸市立糀台小学校	86	小学6年生および教職員を対象に化石の実物からレプリカの製作実習。同時に丹波の恐竜化石についての講義。	谷川直也・春名潤一

## 11. 高砂市（東播磨）

キャラバン参画者の所属

高砂市立荒井小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
小学校三年生への授業	1.26	高砂市立荒井小学校	169	昆虫について講義。	大谷 剛
小学校四年生への展示解説	1.26	高砂市立荒井小学校	42	ハチの解説。	大谷 剛

## 1 2. 西宮市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

西宮市立山口小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石のレプリカ作り	1.18	西宮市立山口小学校	91	小学6年生および教職員を対象に化石の実物からレプリカの製作実習。同時に丹波の恐竜化石について講義。	谷川直也・春名潤一・土佐香代子

## 1 3. 尼崎市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

尼崎市立武庫の里小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
昆虫の研究	2.5	尼崎市立武庫の里小学校	102	小学4年生を対象に、昆虫についての知識や観察法について講義。	橋本佳明
展示解説	2.5	尼崎市立武庫の里小学校	102	小学校4年生を対象に、化石の標本について解説。	春名潤一

## 1 4. 宝塚市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

宝塚市立西山小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
丹波の恐竜化石	1.23	宝塚市立西山小学校	10	地域の方を対象に、丹波の恐竜化石について解説。	春名潤一
化石のレプリカ作り	1.24	宝塚市立西山小学校	93	小学2年生および教職員を対象に化石の実物からレプリカの製作実習。同時に丹波の恐竜化石について講義。	春名潤一
展示解説	1.25	宝塚市立西山小学校	174	小学校3,4年生を対象に、化石標本について解説。	春名潤一
展示解説	1.30	宝塚市立西山小学校	89	小学校5年生を対象に、化石標本について解説。	春名潤一

## 【アウトリーチプログラム】

月	地域	事業名	場所	開催日	博物館の関わり方	連携相手	内容種別
4	阪神北	チョウが消えてゆく—絶滅の危機のあるチョウとその保全—	博物館4F	2007/4/10-5/27	共催	NPO法人 日本チョウ類保全協会	展示・セミナー
4	阪神北	2007 猪名川町生涯学習カレッジ リバグレス 猪名川	猪名川町生涯学習センター	2007/5/19-2008/3/1	共催	猪名川町中央公民館	セミナー
4	三田市	姫螢シンポジウム2007	人と自然の博物館	2007/4/24	共催	姫螢研究会 八木 剛	シンポジウム
4	丹波	森林動物研究センター開設記念式典	森林動物研究センター	2007/4/21	協力	森林動物研究センター	その他
4	神戸	平成19年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」	六甲山自然保護センター	2007/4/21,5/19,6/16	協力	六甲山自然保護センターを活用する会	セミナー
4	神戸	平成19年度「六甲山環境整備協議会」		2007/4-2008/3	協力	六甲山自然保護センターを活用する会	その他
4	神戸	北須磨小学校 裏山カブトムシ復活大作戦・校区内の昆虫調査	旧須磨市街地地区	2007/4-2008/3	後援	北須磨自然観察クラブ	セミナー
5	阪神北	共同展示会「共生の風景」	フローラ88	2007/4/28-5/6	共催	フローラ88会	展示
5	中播磨	～民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあい事業～「歴民に化石がやってくる！」～福崎の化石とその時代～		2007/5/2-13	共催	福崎町教育委員会	展示
5	丹波	ゴーラーデン・ウイーク「恐竜フェスティバル」	コモーレ丹波の森 センターコート	2007/5/3-5/6	協力	コモーレ専門店会	展示
6	丹波	姫ボタルまつり	丹波市山南町内	2007/6/6-7/7	共催	丹波市観光協会(姫ボタルまつり実行委員会)	その他
6	阪神北	かわいい春を見つけよう スペシャル 今年はホタルを見に行こう！+ザリガニまつりもできちゃ	丹波市青垣町江古花園ほか	2007/6/16	共催	ひとばく連携活動グループ run♪ run♪ plaza	セミナー
6	西播磨	西播磨エコフレイヤー塾	西播磨総合庁舎ほか	2007/6/1,6/8,6/22,7/6,9/14,10/5,10/26,11/16,12/7,2008/1/18	協力	兵庫県西播磨県民局	セミナー
6	県外	昆虫館の「虫祭り」	樞原市昆虫館	2007/6/3	協力	樞原市昆虫館	展示
6	阪神南	尼崎市いきいき100万歩運動事業 シニアウォーキング入門教室	尼崎市立総合老人福祉センター	2007/6/5,6/12,6/19,7/3,7/17,8/7,8/21,9/4,9/18,10/2,10/16,11/6,11/20,12/4,12/18,2008/1/8,1/22,2/5,2/19,3/4,11/3,18	協力	財団法人 尼崎市高齢者生きがい促進協会	その他
6	阪神北	池尻川ホタル観察会	池尻川	2007/6/10	協力	ゆりのきフィールドウォーカー	セミナー
6	神戸	小学校自然学校	博物館,ハチ高原	2007/6/21,24,25,7/17	協力	神戸市立道場小学校	その他

6	神戸	講義「ミツバチの生態・習性について」	神戸市男女共同参画センター3階	2007/6/27	協力	神戸婦人大学生活文化コース3年生才木グループ	セミナー
6	阪神北	田んぼの生き物調べ	中内神地区	2007/6/30	協力	ゆりのきフィールドウォーカー	セミナー
7	大阪府	たかつき子ども自然体験学校 昆虫標本づくり	高槻市阿武山周辺	2007/7/15, 8/19	協力	特定非営利活動法人たかつき	セミナー
7	阪神南	牧野四子吉の世界—自然観察の愉しみー／水と芦屋—江戸時代のエコロジー—	芦屋市立美術博物館	2007/7/21-9/24	協力	芦屋市立美術博物館	展示, セミナー
7	丹波	青少年のための科学の祭典2007 丹波会場大会	篠山市立味間小学校体育馆	2007/7/29	協力	青少年のための科学の祭典・丹波会場実行委員会	展示
7	神戸	六甲山自然保護センター夏休み特別展示「六甲山にちなんだ生き物たち」	県立六甲山自然保護センター 本館展示室	2007/7/25-8/19	協力	兵庫県神戸県民局	展示
7	大阪府	キッズカーマンによる万博公園わくわく探検隊	万博記念公園	2007/7/30, 31	協力	サントリ次世代研究所	その他
7	阪神北	清流猪名川を取り戻そう町民運動講演会「川の生態系と人のかかわり」	猪名川町社会福祉会館会議室	2007/7/28	共催	清流猪名川を取り戻そう町民運動実行委員会	セミナー
7	北播磨	昆虫展「北はりまと世界の昆虫展」	北はりま田園空間博物館	2007/7/29, 8/4-16	協力	NPO法人 北はりま田園空間博物館	展示, セミナー
8	丹波	開館5周年記念事業『図書館に恐竜がやってくる!』	篠山市立中央図書館	2007/8/1-31	協力	篠山市立中央図書館	展示, セミナー
8	神戸	道場のまちづくり事業「有馬川を歩こう・川と遊ぼう IN 道場」	道場町有馬川河川敷	2007/8/4	協力	神戸市北区役所まちづくり推進部まちづくり支援課	その他
8	淡路	空飛ぶ宝石モルフォチョウ展	淡路ワールドパーク ONOKORO	2007/8/18-9/2	共催	株式会社おのころ愛ランド	展示
8	阪神北	神戸三田新阪急ホテル 第7回納涼夏祭り	神戸三田新阪急ホテル	2007/8/14-15	協力	神戸三田新阪急ホテル	展示
8	阪神南	第3回 みやまかね祭り	宝塚ゴルフクラブ	2007/8/27	共催	ひとはく連携活動グループ あかねちゃんクラブ	その他
8	阪神北	平成19年度インター カレッジ サマー エコ講座	兵庫県立奥猪名健康の里	2007/8/29-31	協力	兵庫県阪神北県民局	セミナー
8	丹波	丹波竜センセーション	ミント神戸6F・フレッツ@メディアスタジオ	2007/8/27-9/2	協力	丹波市役所企画部	展示
9	神戸	日本第四紀学会普及講演会「大地の変動と地震・津波」 日本第四紀学会シンポジウム「瀬戸内海の変遷—自然、環境、人」	神戸大学龍川記念学術交流会館	2007/9/1	協力	日本第四紀学会2007神戸大会実行委員会	シンポジウム・その他
9	阪神北	SANDA SUMMER STAGE 2007	三田市深田公園	2007/9/1	協力	SANDA SUMMER STAGE 2007 実行委員会	その他
9	神戸	平成19年度 自然公園ふれあい全国大会 予告展示	神戸市営地下鉄山手線県庁前駅 兵庫県広報	2007/9/11-20	協力	兵庫県環境政策局自然環境課	展示
9	神戸	ふるさとの植物を守ろう展	六甲高山植物園	2007/9/15-10/14	協力	六甲高山植物園	展示・セミナー
9	中播磨	「2007ひょうごまちなかみガーデンショー in 明石」におけるボタニカルアート展	明石公園、JR明石駅・山陽明石駅周辺および明石市立花と緑の学習園	2007/9/29-10/7	共催	財団法人 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター	展示
10	阪神北	サウンドスポット～展示を助ける不思議な音と映像の世界～	人と自然の博物館	2007/10/2-8, 10/23-28	共催	サウンドスポット実行委員会	展示
10	阪神北	企画展「恐竜王国へようこそ！」	伊丹市立子ども文化科学館	2007/10/6-2008/1/20	協力	伊丹市立こども文化科学館	展示
10	神戸	第25回ひょうご科学技術トピックスセミナー	兵庫県民会館9階 けんみつホール	2007/10/26	後援	財団法人ひょうご科学技術協会	セミナー
10	但馬	第3回豊岡市竹野地域市民文化祭 竹野地区館展	竹野地区公民館	2007/10/28-11/4	協力	第3回豊岡市竹野地区市民文化祭実行委員会事務局 豊岡市竹野地区公民館	展示
10	阪神北	かわいい秋を見つけよう—さかせがわスペシャル—	逆瀬川河川敷	2007/10/6	共催	ひとはく連携活動グループrun♪run♪plaza	セミナー
11	東京都	第29回 東京兵庫県人会総会交流会	明治記念館	2007/11/7	協力	丹波県民局	展示
11	神戸市	おもしろ理科教室	神戸市立有野児童館	2007/11/14	共催	神戸市立有野児童館	その他
11	神戸	第410回自然観察指導員講習会	六甲山YMCA	2007/11/23-25	後援	NACS-J 自然観察指導員兵庫連絡会	セミナー
11	神戸	神戸市立青少年科学館 おもしろ科学館クラブ	神戸市青少年科学館	2007/11/24	協力	神戸市青少年科学館	セミナー
11	広島県	出前自然史博物館—一日だけの自然史博物館 in 広島—	広島県民文化センター・第一展示室	2007/11/11	協力	「自然の博物館」をつくる会	展示
11	神戸	平成19年度 自然公園ふれあい全国大会	兵庫県公館	2007/11/17-18	協力	兵庫県環境政策局自然環境課	展示
11	神戸	第16回市民植物観察会	六甲山蓬山駅	2007/11/17	共催	NPO法人 人と自然の会 植物観察会	その他
11	神戸	六甲山ウォーク2007	神戸市立森林植物園 多目的広場	2007/11/18	協力	国土交通省六甲砂防事務所	展示
11	阪神北	地域づくり推進研修会	人と自然の博物館	2007/11/24	共催	佐用町役場上月支所	セミナー
11	阪神北	ガキっこクラブ11月イベント かえっこバザール	県立有馬富士公園パークセンター	2007/11/25	協力	ひとはく連携活動グループ ガキっこクラブ	その他
11	阪神北	有馬富士公園「公開セミナー」'07	県立有馬富士公園	2007/11/17-18, 12/15-16	共催	兵庫県阪神北県民局三田土木事務所	その他
12	神戸	干支展「ネズミ」	神戸市立王子動物園	2007/12/15-2008/2/19	協力	神戸市立王子動物園	展示
12	阪神北	平成19年度 日本植物分類学会講演会	兵庫県立人と自然の博物館 ホロンビアホール	2007/12/15	協力	日本植物分類学会	シンポジウム
12	阪神北	昆虫学公開研究発表会(2007年度日本昆虫学会近畿支部大会・日本鱗翅学会近畿支部第135回例会)	兵庫県立人と自然の博物館	2007/12/15	共催	日本昆虫学会近畿支部会	シンポジウム
12	阪神北	すき間緑化フォーラム “すき間緑化”って、知っています？」	尼崎市中小企業センター大ホール	2007/12/8	協力	尼崎南部グリーンワークス	シンポジウム
1	阪神北	神戸三田新阪急ホテル 新春展示	神戸三田新阪急ホテル	2008/1/1-3	協力	神戸三田新阪急ホテル	展示
1	淡路	北淡活断層シンポジウム2008	北淡震災記念公園セミナーハウス	2008/1/12-13	共催	北淡活断層シンポジウム実行委員会	シンポジウム
1	淡路	淡路夢舞台ラン展2008	兵庫県立淡路夢舞台温泉「奇跡の星の植物館」	2008/1/19-2/24	協力	財団法人 淡路花博記念事業協会、兵庫県立淡路夢舞台温泉「奇跡の星の植物館」、日本・蘭協会	その他

1	阪神北	阪神・淡路大震災 獣牲者追憶のつどい 第13回「あなたの思いを灯してください～失った命の数をロウソクの灯火に込めて」	伊丹市昆陽池公園	2008/1/16-17	協力	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション (主催)三田市立有馬富士公園学習センター (共催)全国カヤネズミ・ネットワーク、三輪明神窟史跡園 社団法人 大阪自然環境保全協会 グリーンレンジャー	その他 展示
1	阪神北	企画展「ねずみのくらし」	三田市立有馬富士公園学習センター	2008/1/19-4/13	協力		
2	岡山県	第18回冬のおもしろ自然たんけん隊	岡山県真庭郡新庄村	2008/2/16-17	協力		その他
2	阪神北	冬の鳥 観察会	三田市平谷川	2008/2/3	協力	ゆりのきフィールドウォーカー	セミナー
2	阪神南	人間科学研究科セミナー	神戸女学院大学	2008/2/26	協力	神戸女学院大学人間科学研究科	セミナー
3	阪神北	ミニ企画展 遠藤先生と行った「冬の鳥 観察会」	人と自然の博物館 ひとはくサロン	2228/3/11-4/7	共催	ゆりのきフィールドウォーカー	展示

## サイエンスショ-2007 出展者一覧

No.	タイトル	所属	氏名	備考
1	木炭電池でかんたんモーターを動かす	県立御影高等学校	清水敏一	11/11
2	アルギン酸ボールで人工イクラ時計をつくろう	丹波市立和田中学校	中西勝廣	11/11
3	ウミホタルの発光実験	甲南大学	道之前允直	11/11
4	煮干しのお腹のプランクトンから海の環境を考えよう	県立長田商業高校	中西敏昭	11/11
5	ポンポン船をつくろう	県立氷上西高等学校	足立幸謙	11/11
6	お月さまを手に取ろう	県立有馬高等学校	谷川智康	11/11
7	ザ・電気(おもしろ電気実験)	県立三田祥雲館高等学校	三戸尚美	11/11
8	風景を見る!万華鏡	高砂市立荒井小学校	赤松裕人	11/11
9	葉脈標本をつくろう	県立鈴蘭台西高等学校	繁戸克ほか	11/11
10	偏光であそぼう	人と自然の博物館	先山徹	11/11
11	つくってあそぼう	西宮市小学校生活部会	天花寺作子ほか	11/11
12	野菜の花を知っているかな	人と自然の博物館	布施静香	11/11
13	花粉を見てみよう	人と自然の博物館	半田久美子・福田智子	11/11
14	おいしい火山実験	人と自然の博物館	土佐香代子	11/11
15	ミュージアムティーチャーに挑戦!	人と自然の博物館	菊池由美子	11/11
16	のぞいてみよう ミクロの世界	人と自然の博物館	佐藤裕司	11/11
17	こまの科学	県立加古川北高等学校	大平雅子	12/23
18	ファンタスティック・ラボ	県立篠山鳳鳴高等学校	森田かずみ	12/23
19	紫キャベツで二酸化炭素センサー	県立伊川谷北高等学校	名生修子ほか	12/23
20	海にもホタル	県立有馬高等学校	土居恭子ほか	12/23
21	牛乳パックで挑戦 逆さビデオカメラづくり	人と自然の博物館	赤澤宏樹	12/23
22	遊ぶ電気は自分で起こそう	神戸市立有野北中学校	佐藤善信ほか	12/23
23	ドロドロ物体のふしぎ	県立伊丹北高等学校	谷口真日東	12/23
24	葉脈標本をつくろう	県立津名高等学校	佐田貴子ほか	12/23
25	顕微鏡でのぞく微生物の世界	県立神戸高等学校	稻葉浩介	12/23
26	植物染料で布を染めよう	県立伊川谷北高等学校	戎井一史	12/23
27	人工イクラ	県立小野高等学校	森井比佐志	12/23
28	けものの歯をくらべてみれば	人と自然の博物館	長谷川太一	12/23
29	つくってあそぼう	人と自然の博物館	菊池由美子・土佐香代子	12/23
30	ゲームで体験!進化のしくみ	人と自然の博物館	遠藤菜緒子	12/23
31	液状化をためしてみよう	人と自然の博物館	先山徹	12/23
32	恐竜復元模型	人と自然の博物館	谷川直也	12/23
33	聴診器をつくってみよう	神戸市立楠高等学校	山本恵昭ほか	2/17
34	牛乳パックで挑戦 逆さビデオカメラづくり	人と自然の博物館	赤澤宏樹	2/17
35	身近な植物で水溶液を仲間分けしよう	丹波市立西小学校	細見隆昭	2/17
36	備長炭電池をつくろう	県立柏原高等学校	小西邦和	2/17
37	リサイクル楽器でリサイタル	篠山市立篠山養護学校	足立晃一郎	2/17
38	公園模型をつくろう	人と自然の博物館	嶽山洋志	2/17
39	-196℃の世界を体験しよう	県立明石高等学校	東田純一ほか	2/17
40	ドライアイスは楽しい	県立柏原高等学校	石井理	2/17
41	リサイクル楽器をつくろう	篠山市立篠山養護学校	足立晃一郎	2/17
42	アクセサリー作りで石の不思議を知ろう	神戸市立本山中学校	荒井敏夫ほか	2/17
43	万華鏡をつくろう	啓林館	櫻木輝秀	2/17
44	鉄道模型の列車自動運転システム	こどもサイエンスひろば	上田智勝ほか	2/17
45	水に浮かぶもの、沈むもの	丹波市立柏原中学校	渡辺克巳ほか	2/17
46	電気のしくみを理解しよう	関西電力(株)	玉置修ほか	2/17
47	まゆ玉で作るひな人形	県立宝塚高等学校	篠谷和彦	2/17
48	缶詰のミカンに挑戦!	県立柏原高等学校	尾松浩明	2/17
49	接着剤で動く船をつくって競争しよう	県立神戸高塚高等学校	浮田裕	2/17
50	切っても切ってもプラナリア	県立有馬高等学校	大林奈園	2/17
51	ロボット音楽隊	ピーエルオートテック(株)	田口千代子ほか	2/17
52	古代体験!はにわづくり、花工房!押し花アート	人と自然の会		2/17
53	やじろべえ	県立三田祥雲館高等学校	景山嘉祐	2/17
54	落ち葉図鑑をつくろう	味間自然を楽しむ会	毛利敏治	2/17
55	光であそぼう	人と自然の博物館	菊池由美子・土佐香代子	2/17
56	ペットボトルで顕微鏡をつくろう	ケニス(株)	玉谷勝彦	2/17

## ひとはくフェスティバル'07 参画団体リスト（順不同）

---

### ■実行委員会・後援・協賛

---

1. 兵庫県阪神北県民局
  2. 株式会社北摂コミュニケーションセンター
  3. 株式会社ミツカングループ本社
  4. 財団法人 兵庫丹波の森協会
  5. 神戸三田新阪急ホテル
- 

### ■イベント・ステージ開催団体

---

1. 兵庫県立有馬高校吹奏楽部
2. キッズプラザ大阪
3. 考古楽倶楽部
4. 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア
5. 伊丹市昆虫館友の会
6. 九州国立博物館
7. 西宮市貝類館
8. 篠山チルドレンズミュージアム「ミュージアム・クラブ」
9. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究所
10. 特定非営利活動法人 キッピーフレンズ
11. 兵庫県立有馬富士公園パークセンター
12. ささやまの森公園運営協議会
13. やしろの森公園運営協議会
14. ゆめさきの森公園運営協議会
15. 国見の森公園運営協議会
16. なか・やちよの森公園運営協議会
17. 三田マッキントッシュ・ユーザーズグループ

18. ミュージアムショップ (株)エフコーポレーション  
ヨン

19. ガキっこクラブ
  20. 鳴く虫研究会「きんひばり」
  21. GREEN GRASS
  22. 希少植物研究会
  23. run♪ run♪ plaza
  24. NPO 法人 人と自然の会「理科ボックスクラブ」
  25. NPO 法人 人と自然の会「花工房」
  26. NPO 法人 人と自然の会「みづばち研究会」
  27. NPO 法人 人と自然の会「ネイチャー・クラフトクラブ」
  28. NPO 法人 人と自然の会「里山クラブ」
  29. NPO 法人 人と自然の会「星の会」
  30. NPO 法人 人と自然の会「縄文の会」
- 

### ■出店団体

---

1. 丹波市観光協会山南支部
2. 山名酒造株式会社
3. 神戸三田新阪急ホテル
4. レッドビーンズ
5. 中播磨さとやまづくり推進協議会企画運営会議
6. ミツカンよかわビオトープ倶楽部
7. 社会福祉法人まほろば
8. 居酒屋さくら
9. ボーイスカウト三田第一団
10. ガールスカウト日本連盟兵庫県第90団
11. ガールスカウト兵庫県第95団

## フロアサービス実績一覧

イベント名	内容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「うりんぼのごちそう」	611	31
	「コウちゃんの60日間」	961	56
	「スキ草原のオーケストラ」	2256	113
	「スマスネズミと100年の森」	1487	104
	「たんぽぽレストラン」	2275	96
	「ぶくぶくあわわ～森から川へのおりもの～」	3918	154
展示解説	「ボルネオジャングル探検」	3134	268
	展示室ツアー「いのちの歴史ツアー」	79	7
フロアスタッフとあそぼう	「アメリカマストドンのうちわづくり」	46	3
	「うみがめものがたり」	65	2
	「画はくの日」	256	22
	「恐竜巨大パズル」	82	2
	「クジラクイズ」	76	2
	「ぐるぐるとぶたね」	151	11
	「動物すごろく」	89	7
	「どんぐりであそぼう」	38	2
	「ナチュラルモビール」	42	2
	「葉っぱdeカルタ」	44	6
	「兵庫のカルタとり」	10	2
	Let'sむかし体験	96	2
	うきうきおりがみ	81	6
	川で魚つり	68	7
	木の実でクリスマス	64	4
	恐竜キューブ	35	2
	恐竜万華鏡作り	106	2
	たんぽぽコースターを作ろう！	238	8
	虫ムシ宝さがしラリー	54	2
	目指せ！おさる博士	37	2
	リサイクルクイズ	17	2
深田公園うきうき探検隊	テーマ：「秋のキノコ」、「いろいろなタネ」、「外国から 来た植物たち」、「トンボとりペナントレース」、「夏の水 辺」、「春の虫こぶ」、「早春の花」、「冬の鳥」	156	8
夜間開館イベント	「ひとはくうきうき屋台」おさるパズル	3	1
	「ひとはくうきうき屋台」恐竜万華鏡	8	1
そのほか	(特注セミナー対応)	666	13
合計		17249	950

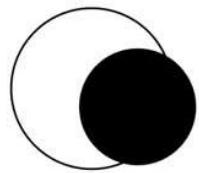
## ○外部資金導入状況

### ◆科研費等助成金

研究課題名	助成種別	研究グループ	助成金額(H19年度)
人間環境としての照葉樹林の植物学的解析－中国と日本を対比して－	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)海外学術調査	(代表)岩槻邦男(分担)服部保、鈴木武、石田弘明、橋本佳延、黒田有寿茂	5,070,000
生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)服部(分担)石田弘明・小館誓治・鈴木武	910,000
後期中新世の旧世界における長鼻類の進化	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)三枝春生	910,000
屋久島蘚苔類多様性の現状把握と保全についての研究	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)秋山弘之	1,430,000
治水と希少水生生物の保全は両立するか	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)田中哲夫(分担)角野康郎(神戸大)	1,820,000
有孔虫化石の群集解析によるペルム期・三疊系石灰岩の起源と搬入・定置過程	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)小林文夫	1,690,000
アリ類種多様性はアリ擬態グモの多様性創出の鑄型となっているか	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)橋本佳明(分担)遠藤知二(神女学院大)・市岡孝明(京都大)	1,820,000
コウノトリはなぜ豊岡盆地で生き残れたのか？－標本と歴史資料が語る生態系のしくみ－	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表)三橋弘宗(分担)池田啓・江崎保男・大迫義人	2,210,000
ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか	日本学術振興会科学研究費補助金萌芽研究	(代表)大谷剛	500,000
米国・公園区を事例とした官民協働による地域マネジメント手法に関する研究	日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B)	(代表)赤澤宏樹	1,400,000
プラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築	日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B)	(代表)客野尚志	900,000
兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査	平成19年度兵庫県立大学特別教育研究助成金	(代表)服部保(分担)橋本佳延・黒田有寿茂・石田弘明	1,500,000
都市公園へのパークスキャンの導入に関する研究～アメリカ サンフランシスコにおける取り組みからの考察～	公園緑地研究助成	(代表)嶽山洋志(分担)中瀬勲	530,000
雌しべが動いて性が変わる：フレキシスタイルーの起源と進化に関する研究	日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B)	(代表)高野温子	1,000,000
ユニバーサル化をめざした視覚障害児のための理科テキストの開発	日産科学振興財団 理科/環境教育助成	(代表)三谷雅純	300,000
東西日本で比較したニホンザル各種バラメータの人為的な影響による変容	京都大学靈長類研究所共同利用研究	(代表)三谷雅純	158,000
科学リテラシーの涵養に資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論構築	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)	(代表)小川義和(国立科学博物館)(協力)中瀬勲・嶽山洋志	10,700,000
アジア産旧世界ザルの道具使用等社会行動に関する研究とその保全	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(海外学術調査)	(代表)渡邊邦夫、(分担)三谷雅純	900,000／5,300,000
合計(代表分のみ)			22,148,000

◆受託研究

研究課題	受託先	受託者	受託金額 (H19年度)
平成19年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)	三田市	(代表)服部 保(分担)石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂・南山典子	1,000,000
丹波地域の集落活性化戦略に資する住民意識の実態把握業務	(財)兵庫丹波の森協会	(代表)中瀬勲(分担)客野尚志、嶽山洋志	800,000
北播磨自然指導員育成に関する業務委託	NPO法人北播磨市民活動支援センター	(代表)小館誓治	130,000
尼崎の森中央緑地 地域性苗木栽培業務	兵庫県阪神南県民局	(代表)服部 保(分担)石田弘明・黒田有寿茂・南山典子・柏谷 泉	1,100,000
台場クヌギ分布調査業務	兵庫県阪神北県民局	(代表)服部 保(分担)石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂・南山典子	910,000
貴重植物の冠水耐性実験並びにシダ類・ラン類の栽培業務	財団法人ひょうご環境創造協会	(代表)服部 保(分担)黒田有寿茂・南山典子・柏谷 泉	1,440,000
人工照明の設置がヒメボタル個体群に与える影響に関する研究	猪名川上流広域ごみ処理施設組合	(代表)八木剛	1,000,000
オグロコウホネ等管理業務委託	兵庫県丹波県民局	(代表)服部 保(分担)南山典子・柏谷 泉	1,870,000
黒井川オグロコウホネ保全対策検討業務	アジア航測株式会社	(代表)服部 保(分担)南山典子・柏谷 泉	510,000
水道生物の分類と同定に関する研修	兵庫県企業庁東播磨利水事務所	(代表)佐藤裕司	240,000
キリンビール神戸工場内レフュジアビオトープ創出に関する研究	キリンビール(株)神戸工場	(代表)田中哲夫(分担)佐藤裕司	700,000
国道178号道路緑化作業推進業務	株式会社長大	(代表)服部 保(分担)南山典子・柏谷 泉	200,000
平成19年度みくまりダム環境調査・保全対策検討業務	株式会社東京建設コンサルタント 兵庫事務所	(代表)服部 保(分担)南山典子・柏谷 泉	267,000
エドヒガンの分布・個体群構造・生育環境に関する調査	独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所	(代表)石田弘明	494,000
ミツカン・三木市・ミツカンよかわビオトープ俱楽部における連携と分担に関する研究	株式会社ミツカングループ本社	(代表)藤本真里(分担)中瀬勲・八木剛	750,000
パークマネジメントの人材養成に関する研究	兵庫県阪神北県民局	(代表)藤本真里(分担)中瀬勲・赤澤宏樹・嶽山洋志	1,000,000
有馬富士公園湿地帯の適正利用確立に関する業務	兵庫県阪神北県民局	(代表)三橋弘宗	900,000
ひのそ島における種子及び埋土種子の発芽実験について	(株)建設技術研究所大阪本社	(代表)服部 保(分担)黒田有寿茂・南山典子・柏谷 泉	640,000
河川環境調査における標本整理およびマニュアルの改訂等に関する業務	兵庫県県土整備部河川計画課・分任事業	(代表)三橋弘宗(分担)服部保・田中哲夫	4,300,000
合計			18,251,000



利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 每週月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）  
年末年始（12月28日～1月2日）  
臨時休館日（1月13日～2月6日を予定）

■観覧料 (平成19年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
大人*	200円	150円
高・大学生	150円	100円
小・中学生(県外)	100円	70円
小・中学生(県内) **	無料	

\* : 障害者(介護者1名を含む)及び県内在住の  
65歳以上の方は半額

\*\* : 県内在住・在学の小・中学生はココロン  
カードの提示により無料

## ■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

使用料	(平成19年4月1日現在)		
時間帯	9時~12時	13時~17時	9時~17時
(土・祝)	5,500円	7,000円	12,500円
(平・日)	4,400円	5,600円	10,000円

なお、附属設備の料金については別に定めます。

■交 通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。  
神姫バスフラワータウンセンター前下車すぐ。  
中国自動車道神戸三田より 5 分。

■駐車場 バス 13台 無料(要予約)  
普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。



*編集委員*

加藤 茂弘  
嶽山 洋志

*表紙イラスト*

イザワ イツハ

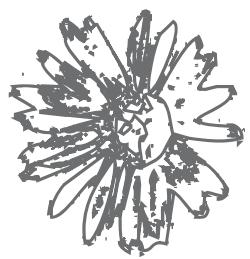
*編集後記*

より多くのみなさまに人と自然の博物館の事業や研究の内容についてご理解をいただければと願っています。

**館 報 2007**

編集・発行 兵庫県立人と自然の博物館  
〒669-1546 兵庫県立三田市弥生が丘6丁目  
TEL (079) 559-2001 (代表)  
＊博物館ではインターネットでも情報を提供しています。  
URL <http://hitohaku.jp/>

発行年月日 平成20年9月16日  
印 刷 株式会社 プリティック



ANNUAL REPORT  
Of  
Museum Of Nature and Human Activities, Hyogo  
For The Fiscal Year Of 2007  
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan